
会 告 ・ 通 知

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku-tsuuchi.html>
(本会ホームページ→左側 MENU 上から 3 番目会告ページ入る)

————— 平成 24 年 4 月号会告・通知目次 —————

◇第一種研究会開催案内（平成 24 年 4 月 6 日～4 月 28 日）	2
◇第二種研究会開催案内	15
◇2012 年ソサイエティ大会講演募集案内予告	16
◇FIT 2012 第 11 回情報科学技術フォーラム講演募集案内	17
◇平成 24 年度春季先端オープン講座開講——御案内と受講者募集——	20
◇講演会・講習会・学術研究集会等	
・見学会「清水建設」	23
・本会が協賛等のもの	23
◇国際会議	24
◇受賞候補者募集等	25
◇求人欄	26
◇お知らせ	
・電子情報通信学会創立記念日と事務について	27
・平成 24 年度会費お払込みのお願い	27
・転勤・引越し及び学生員申請の届出について	27
・英文論文誌 B レターカテゴリ廃止について	28
・卓越研究データベース（日本）の名称変更と公開のお知らせ	28
・第 20 回衛星設計コンテスト	28
・日本学術振興会特別研究員——平成 25 年度採用分募集——	28
・日本学術振興会特別研究員-RPD——出産・育児による研究中断者への復帰支援フェロシップ—— ——平成 25 年度採用分募集——	28
・平成 24 年 4 月号及び 5 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	29
◇論文特集号原稿募集	
・ビッグデータ時代を支えるセキュリティ・プライバシー保護技術小特集号（和文論文誌 A）	29
・多様化する電磁環境における EMC 対策設計・評価技術特集号（和文論文誌 B）	30
・集積回路設計技術に関する小特集号（英文論文誌 C）	30
◇IEICE Communications Express（ComEX）創刊のお知らせ	32
♡複製される方へ	3
♡新刊案内	
・本会発行図書	
[Excel で学ぶ組込みシステム要素技術]	16
[光波工学の基礎]	19
・電子情報通信レクチャーシリーズ	
[情報社会・セキュリティ・倫理]	24
・現代電子情報通信選書「知識の森」シリーズ	
[感覚・知覚・認知の基礎]	27
[医療情報システム]	31
♡総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	25

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会

平成 24 年 4 月 6 日～4 月 28 日

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時	会 場	告頁
超 音 波	25 日(水) 13 : 00～16 : 40	日本大学・理工学部・駿河台キャンパス	5
非 線 形 問 題	19 日(木) 13 : 00～17 : 30 20 日(金) 9 : 20～16 : 30	いせシティプラザ	8

4 月休会の研究会；回路とシステム，情報理論，信頼性，応用音響，VLSI 設計技術，情報セキュリティ，信号処理，ワイドバンドシステム，システム数理と応用，思考と言語，技術と社会・倫理，安全性，ITS，スマートインフォメディアシステム，イメージ・メディア・クオリティ

◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時	会 場	告頁
ア ン テ ナ ・ 伝 播	19 日(木) 9 : 40～16 : 50	東北大学・片平さくらホール	6
宇 宙 ・ 航 行 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	26 日(木) 13 : 00～15 : 45 27 日(金) 9 : 40～12 : 00	宇宙航空研究開発機構・白田宇宙空間観測所	8
環 境 電 磁 工 学	20 日(金) 12 : 30～17 : 00	金沢大学・角間キャンパス	9
情 報 ネ ッ ト ワ ー ク	12 日(木) 13 : 30～17 : 05 13 日(金) 10 : 15～15 : 10	京都府中小企業会館	10
無 線 通 信 シ ス テ ム	19 日(木) 13 : 00～17 : 55 20 日(金) 9 : 30～16 : 10	京都大学・百周年時計台記念館	10
ネ ッ ト ワ ー ク シ ス テ ム	19 日(木) 13 : 00～18 : 20 20 日(金) 10 : 00～14 : 40	高知県立大学・永国寺キャンパス	12
通 信 方 式 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ク オ リ テ ィ	19 日(木) 9 : 00～18 : 00 20 日(金) 8 : 30～15 : 00	石垣島官公労八重山会館	13

4 月休会の研究会；衛星通信，電子通信エネルギー技術，光通信システム，フォトリックネットワーク，光ファイバ応用技術，情報通信マネジメント，モバイルマルチメディア通信，インターネットアーキテクチャ，ソフトウェア無線，アドホックネットワーク，ユビキタス・センサネットワーク

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日 時	会 場	告頁
マイクロ波・ミリ波フォトニクス	6 日(金) 13 : 00～17 : 00	機械振興会館	前号
超伝導エレクトロニクス マ イ ク ロ 波	20 日(金) 13 : 00～16 : 30	機械振興会館	4
電 子 デ バ イ ス	18 日(水) 13 : 00～17 : 40 19 日(木) 9 : 00～11 : 40	山形大学・工学部・百周年記念会館	6
集 積 回 路	23 日(月) 12 : 30～18 : 50 24 日(火) 9 : 00～16 : 30	つなぎ温泉・清温荘	7
シリコン材料・デバイス 有 機 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	27 日(金) 13 : 00～17 : 30 28 日(土) 9 : 00～12 : 30	沖縄県青年会館	14

4 月休会の研究会；機構デバイス，磁気記録・情報ストレージ，電子ディスプレイ，電子部品・材料，電磁界理論，光エレクトロニクス，レーザ・量子エレクトロニクス，エレクトロニクスシミュレーション

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日 時	会 場	告頁
コ ン ピ ュ ー タ シ ス テ ム デ ィ ペ ン ダ ブ ル コ ン ピ ュ ー テ ィ ン グ	10 日(火) 13 : 00～16 : 30	東京工業大学・大岡山キャンパス・蔵前会館	4
画 像 工 学	27 日(金) 9 : 00～16 : 45	成蹊大学・理工学部	5
コ ン ピ ュ ー テ ー シ ョ ン	27 日(金) 10 : 00～16 : 30	大阪府立大学・中百舌鳥キャンパス	11

今後の予定；ニューロコンピューティング (15 ページ)

4月休会の研究会；MEとバイオサイバネティクス，ライフインテリジェンスとオフィス情報システム，言語理解とコミュニケーション，人工知能と知識処理，ソフトウェアサイエンス，データ工学，パターン認識・メディア理解，ニューロコンピューティング，知能ソフトウェア工学，音声，教育工学，医用画像，ソフトウェアインタプライズモデリング，リコンフィギャラブルシステム，情報通信システムセキュリティ，情報論的学習理論と機械学習，マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント，クラウドネットワークロボット，サービスコンピューティング

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

4月休会の研究会；ヒューマンコミュニケーション基礎，ヒューマン情報処理，マルチメディア・仮想環境基礎，福祉情報工学

◇第二種研究会開催案内

第16回ネットワークソフトウェア研究会	6月21日(木)，22日(金)	函館市民会館	15
---------------------	-----------------	--------	----

複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター（(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体）と包括複写許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。（社外頒布目的の複写については、許諾が必要です。）

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾（著作物の引用、転載、翻訳等）に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Reproduction Rights Organizations (RROs) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619

★コンピュータシステム研究会 (CPSY)

専門委員長 天野英晴 副委員長 安里 彰・吉永 努
幹事 入江英嗣・中野浩嗣 幹事補佐 井上浩明

★ディペンダブルコンピューティング研究会 (DC)

専門委員長 米田友洋 副委員長 梶原誠司
幹事 北神正人・中村友洋

日時 4月10日(火) 13:00~16:30

会場 東京工業大学大岡山キャンパス蔵前会館1Fロイヤルブルーホール (<http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/access/index.html>) TEL [03] 5734-3737 吉瀬謙二)

議題 ディペンダブルコンピューティングシステム及び一般

- 組込み自己テストによって高電磁環境下の周期的過渡故障を回避するプロセッサ アロムハック サイサナソソカム・
○根岸正彦・新井雅之・福本 聡 (首都大東京)
- 3次元NoCの混在トポロジにおけるルーティング手法の提案
○佐々木大輔・松谷宏紀 (慶大)・
鯉渕道紘 (NII/総研大/JST)・天野英晴 (慶大)
- 高位合成言語向け自動最適化ツールの実装
○八藤磨生・宮島敬明・天野英晴 (慶大)
- MapReduce 処理系 SSS に向けた KVS の改良
○中田秀基・小川宏高・工藤知宏 (産総研)
- 大規模仮想ディスクにおける3次元直交RAIDの実装と評価
上原 稔 (東洋大)
- クラウド教育環境におけるDaaSの評価
○木部真一郎・小山輝明・上原 稔 (東洋大)
- 教育用クラウドにおけるDEVaaSの提案 ○松本勝慶・
木部真一郎・上原 稔・森 秀樹 (東洋大)
- センサーネットワークとクラウドの効率的な連携方法の提案
○高部優一郎・山際 基・上原 稔 (東洋大)

☆CPSY 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
5月28日(月)~30日(水) 北九州国際会議場 [未定] テーマ: LSI とシステムのワークショップ2012

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

安里 彰 (富士通)
TEL [044] 754-3233, FAX [044] 754-3214
E-mail: asato@jp.fujitsu.com

☆DC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
5月28日(月)~30日(水) 北九州国際会議場 [未定] テーマ: LSI とシステムのワークショップ2012

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

北神正人 (千葉大大学院融合科学研究科)
〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
TEL & FAX [043] 290-3254
E-mail: kitakami@faculty.chiba-u.jp

◎最新情報は、DC 研究会ホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/iss/dc/jpn/index.html>

★超伝導エレクトロニクス研究会 (SCE)

専門委員長 日高睦夫
幹事 柴田浩行・山田隆宏 幹事補佐 赤池宏之

★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 大平 孝
副委員長 黒木太司・中津川征士・川上憲司
幹事 西川健二郎・加屋野博幸 幹事補佐 佐藤 圭・嶋田浩和

日時 4月20日(金) 13:00~16:30

会場 機械振興会館地下3階2号室 (港区芝公園3-5-8. 東京メトロ日比谷線: 神谷町駅下車徒歩10分, JR: 浜松町駅下車徒歩20分, 都営地下鉄三田線: 御成門駅・大江戸線: 赤羽橋駅下車徒歩10分. http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm TEL [03] 3434-8211)

議題 マイクロ波超伝導, マイクロ波一般

- 超伝導共振器を用いた微小消費エネルギーの測定方法の提案
○竹内尚輝・山梨裕希・吉川信行 (横浜国大)
- スパイラル型マイクロ波インダクタンス検出器の設計とマイクロ波共振特性
○中島健介・齊藤 敦 (山形大)・
田之上寛之 (埼玉大)・有吉誠一郎 (名工大)・
田井野 徹 (埼玉大)・山田博信 (山形大)・
明連広昭 (埼玉大)・大谷知行 (理研)・大嶋重利 (山形大)
- NMR 検出コイル試作に向けた HTS 薄膜のマイクロ波特性評価
○佐藤秀哉・本間拓也・佐藤敬介・渡辺真伸・
齊藤 敦・小池邦博・加藤宏朗・大嶋重利 (山形大)
- ストリップライン構造を用いた送信用超伝導フィルタの耐電力特性
○關谷尚人・今井 望・堀内友徳 (山梨大)・
秋谷守紀・田中佑斗・大嶋重利 (山形大)
- ダブルストリップ共振器を用いた送信用超伝導ストリップラインフィルタの検討
○關谷尚人・松浦広和 (山梨大)・
秋谷守紀・田中佑斗・大嶋重利 (山形大)
- 超伝導フィルタの相互変調歪み測定システムの高性能化に関する研究
○秋谷守紀・齊藤 敦・龍口 司・中島健介・
大嶋重利 (山形大)
- Xバンド気象レーダー向け受信用超伝導フィルタの開発
○塩川教次・河口民雄・中山浩平・山崎六月・
加屋野博幸 (東芝)
- 楕円関数特性を有する SAW フィルタの設計に関する一検討
塚本和也・宮田尚起 (電通大)・上原健誠・
川内 治 (太陽誘電モバイル)・○和田光司 (電通大)

☆SCE 研究会

【問合せ先】

赤池宏之 (名大)
TEL [052] 789-3324, FAX [052] 789-3160
E-mail: akaike@nuee.nagoya-u.ac.jp

☆MW 研究会

【問合せ先】

佐藤 圭 (NTT ドコモ)
TEL [046] 840-6230, FAX [046] 840-3789
E-mail: satokei@nttdocomo.co.jp
西川健二郎 (鹿児島大)
E-mail: nisikawa@ieee.org

★超音波研究会 (US)

専門委員長 金井 浩 副委員長 橋本研也・蜂屋弘之
幹事 土屋隆生・三浦 光 幹事補佐 美谷周二朗

日時 4月25日(水) 13:00~16:40

会場 日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館(千代田区神田駿河台1-8-14, JR中央・総武線:御茶ノ水駅下車徒歩3分, 東京メトロ千代田線:新御茶ノ水駅下車徒歩3分, 東京メトロ丸ノ内線:御茶ノ水駅下車徒歩5分, <http://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/access.html> TEL [03] 3259-0776 三浦光)

議題

1. 細いパイプを併用した強力空中超音波による付着微粒子の除去 薦田一喜・小林 匠・大隅 歩・伊藤洋一(日大)
2. 直管方式小型超音響システムについての基礎検討—異なる内径を組み合わせたシステムの試作—
○柴田健次(同志社大)・坂本真一(滋賀県立大)・黒田健太郎・大中健士・中野陽介・渡辺好章(同志社大)
3. 高速画像描画のための超音波同時送波に用いるコード化信号の検討 ○林 壮宏・高山潤也・蜂屋弘之(東工大)
4. 音響放射圧の双方向局所連続加振による生体軟組織内部のざり波伝播の計測 ○館 佳織・山口 潤・長谷川英之・金井 浩(東北大)
5. 縦—ねじり超音波複合振動による脆性素材の穴あけ加工特性—縦振動と複合振動による加工時間の比較—
○浅見拓哉・三浦 光(日大)
6. ナノ秒高強度パルスレーザー光を使う創発的応力波の研究 I 西脇基晃・○小木美恵子・會澤康治・得永嘉昭(金沢工大)
7. 超音波多次元信号のコヒーレント及びインコヒーレント加算による変位ベクトル計測の高精度化及びスペクルの低減
○炭 親良・石井陽介・平林勇人(上智大)

◆日本音響学会; 超音波研究委員会, IEEE UFC Society Japan Chapter 共催

☆US研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月28日(月) 機械振興会館〔締切済〕テーマ: 一般

6月21日(木) 東大生研〔4月13日(金)〕テーマ: 医用超音波, アコースティックイメージング, 一般

7月24日(火), 25日(水) 名大VBL〔5月21日(月)〕
テーマ: 物性, 一般(日本レオロジー学会ナノレオロジー研究会・日本音響学会音響化学研究会・音波と物性討論会共催)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

三浦 光(日大)

TEL [03] 3259-0776, FAX [03] 3293-8265

E-mail: miura@ele.cst.nihon-u.ac.jp

土屋隆生(同志社大)

TEL & FAX [0774] 65-6638

E-mail: ttsuchiy@mail.doshisha.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 如澤裕尚 副委員長 藤井俊彰・井口和久
幹事 内藤 整・久保田 彰 幹事補佐 浜本隆之・坂東幸浩

日時 4月27日(金) 9:00~16:45

会場 成蹊大学理工学部14号館(武蔵野市吉祥寺北町3-3-1, 吉祥寺駅より徒歩約15分, <http://www.seikei.ac.jp/gakuen/accessmap/> TEL [042] 237-3729 小池 淳)

議題 画像処理・符号化及び一般

1. 多層型人工ニューラルネットワーク構造の自己組織化機能を備えた改良形GMDH-typeニューラルネットワークによる肺癌の医用画像診断 ○近藤 正・上野淳二・高尾正一郎(徳島大)
 2. 画素値ヒストグラムの相関係数を用いた電子透かし画像の検索法 ○今村幸祐(金沢大)・黒田英夫(FPT大)・藤村 誠(長崎大)
 3. 画像トータルステーション・ISのカメラ校正
○片桐重和・服部 進(福山大)・大西芳幸(扶桑理大)
 4. 動き誘導信号によるワゴンホイール効果の抑圧—視覚信号処理工学の展開— 吹抜敬彦(イマダ研)
 5. CABACを用いたH.264低遅延コーデックのレート制御アルゴリズム ○岡田光弘・小味弘典・谷田部祐介・溝添博樹(日立)
 6. 複数枚超解像による画像復元型符号化方式のための折り返し歪付加一周波数応答及び遮断周波数の設計—
○三須俊枝・松尾康孝・岩村俊輔・境田慎一(NHK)
 7. MC・非直交変換ハイブリッドフレーム間符号化方式の検討
○王 翠(東工大)・久保田 彰(中大)・羽鳥好律(東工大)
- 午後(13:15~)
8. 暗闇での物体追跡と画像復元 小室 孝(埼玉大)
 9. 対応点マッチングに基づくズームカメラを用いた動的パラメータ推定時におけるSIFTとSURFの性能比較
○須田 新・村上仁己・小池 淳(成蹊大)・三功浩嗣・内藤 整(KDDI研)
 10. スケール変化に対応した人物行動の異常動作特定
○石井健幸・村上仁己・小池 淳(成蹊大)
 11. SOMによるポーズ分類を利用したジェスチャー認識
○高橋正典・伊藤秀隆・隈元 昭(関西大)
 12. 屋外大空間における自由視点映像生成のための複数被写体の追跡と分離 ○山田健太郎・三功浩嗣・内藤 整(KDDI研)
 13. 部分ラベリングとパーティクルフィルタを用いたサッカーシーンにおける選手追跡 ○羽田健太郎・久保田 彰(中大)・三功浩嗣・内藤 整(KDDI研)
 14. 色情報とSVMを用いたサッカーシーンにおける選手の検出
○高原良輔・久保田 彰(中大)・三功浩嗣・内藤 整(KDDI研)
 15. 方向成分を考慮した交点マッチングによる平面射影行列の推定
○河北 薫・久保田 彰(中大)・三功浩嗣・内藤 整(KDDI研)

☆IE研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月17日(木), 18日(金) 名工大〔締切済〕テーマ: 医療における多次元大規模データ解析

【問合先】

内藤 整(KDDI研)

E-mail: ie-kanji2011@mail.ieice.org

★電子デバイス研究会 (ED)

専門委員長 加地 徹 副委員長 原 直紀

幹事 津田邦男・須原理彦 幹事補佐 上田哲三・葛西誠也

日時 4月18日(水) 13:00~17:40

19日(木) 9:00~11:40

会場 山形大学工学部百周年記念会館大会議室 (<http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/access/>)

議題 TFT(有機, 酸化物), 一般

18日

1. 有機ゲート TFT を用いた多結晶 Si 粒界のキャリア輸送機構評価 ○廣瀬文彦・橋本将貴・鹿又健作・初山克章(山形大)

2. 基板相互作用によるグラフェンの電子状態制御
○吹留博一・末光真希(東北大)

3. F4TCNQ の P3HT 膜へのドーピングとそれを用いた有機薄膜トランジスタ
○但木大介・馬 騰・張 晋逾・飯野祥平・木村康男・庭野道夫(東北大)

4. 熱硬化型フッ素系高分子ゲート絶縁膜を用いた高分子 TFT の高性能化
○南木 創(山形大)・伊藤昌宏(旭硝子)・奥 慎也・福田憲二郎・熊木大介・水上 誠・時任静士(山形大)

5. ペンタセン多結晶膜の結晶学的階層構造とキャリア輸送バンドに対する絶縁膜表面の影響
○松原亮介(奈良先端大)・坂井祐貴・野村俊夫(千葉大)・真島 豊(東工大)・酒井正俊・工藤一浩(千葉大)・中村雅一(奈良先端大)

6. 親撥液性を利用した銀ナノ粒子電極のパターニング手法の開発と有機薄膜トランジスタ応用
○竹田泰典・小林 悠・清水雅弘・関根智仁・福田憲二郎・熊木大介・栗原正人・坂本政臣・時任静士(山形大)

7. Bulk heterojunction solar cells based on dye sensitizers with carboxyl groups

○Zhaoyang Liu (Yamagata Univ./Jilin Univ.)・Ziruo Hong・Junji Kido・Xiaofeng Wang (Yamagata Univ.)・Wenjing Tian (Jilin Univ.)

8. Effect of Higher Adduct Fullerene Derivative on Bimolecular Recombination Losses in Polymer Solar Cells

○Yu-Wei Wang・Zi-Ruo Hong・Junji Kido・Xiao-Feng Wang (Yamagata Univ.)・Jian-Ping Zhang (Renmin Univ.)

9. 有機太陽電池の光伝搬解析と反射防止構造の設計
○久保田 繁・鹿又健作・初山克章・鈴木貴彦・廣瀬文彦(山形大)

10. N719 色素増感太陽電池における色素/酸化チタン界面のその場観察
○庄子優樹・伊藤瑛基(山形大)・吉田知恵・中嶋節男(積水化学)・鈴木貴彦・廣瀬文彦(山形大)

19日

1. 塗布型有機トランジスタに向けた銀ナノ粒子インクにおける分散安定性の改善
○小林 悠・山下直哉・関根智仁・福田憲二郎・熊木大介・栗原正人・坂本政臣・時任静士(山形大)

2. 有機トランジスタにおける曲げ効果の評価
○引地健太・奥 慎也・福田憲二郎・熊木大介・水上 誠・時任静士(山形大)

3. 銅電極を用いたボトムコンタクト型有機薄膜トランジスタ

○宇津野裕弥・奥 慎也・水上 誠・熊木大介・時任静士(山形大)

4. P3HT/n-Si 有機無機ヘテロ接合ダイオードにおける界面処理の電気特性への影響
○大山直樹・金子 翔・鹿又健作・廣瀬文彦(山形大)

5. 透明電極上に形成された陽極酸化 TiO₂ ナノチューブ膜の色素増感太陽電池への応用
○小島領太・モハマド マクスドウル ラフマン・木村康男・庭野道夫(東北大)

6. 真空脱水処理法を用いた色素増感太陽電池の高効率化
○伊藤瑛基・庄子優樹・廣瀬文彦(山形大)

◎18日研究会終了後、懇親会を開催します。

☆ED 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月26日(木), 27日(金) 福井大[5月21日(月)] テーマ: 半導体プロセス・デバイス(表面, 界面, 信頼性), 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

原 直紀(富士通研)
TEL [046] 250-8242, FAX [046] 250-8168
E-mail: hara.naoki@jp.fujitsu.com

津田邦男(東芝)
TEL [044] 549-2142, FAX [044] 520-1501
E-mail: kunio.tsuda@toshiba.co.jp

須原理彦(首都大東京)
TEL [042] 677-2765, FAX [042] 677-2756
E-mail: michihiko.suhara@tmu.ac.jp

上田哲三(パナソニック)
TEL [075] 956-8273, FAX [075] 956-9110
E-mail: ueda.tetsuzo@jp.panasonic.com

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良

幹事 山口 良・石井 望 幹事補佐 有馬卓司

日時 4月19日(木) 9:40~16:50

会場 東北大学片平さくらホール(仙台市青葉区片平2-1-1. JR 仙台駅より徒歩約20分. http://www.tagen.tohoku.ac.jp/modules/public/index.php?content_id=33, http://www.tagen.tohoku.ac.jp/modules/public/index.php?content_id=34 陳 強)

議題

1. 導波管型標準アンテナを用いた人体等価液剤中での比吸収率測定プローブ較正システムの改良

○石井 望(新潟大/NICT)・浜田リラ・渡辺聡一(NICT)

2. Dual-Antenna System Using Series-fed Microstrip Antenna and Planar Yagi-Uda Antenna
○Jianfeng Li・Qiang Chen・Kunio Sawaya (Tohoku Univ.)・Qiaowei Yuan (SNCT)

3. 電磁結合による無線電力伝送技術に関する研究
星 貴博・袁 巧微(仙台高専)

4. マイクロストリップ線路による S パラメータ法用ジグの検討
○笹森崇行・中道勇太・戸花照雄・磯田陽次(秋田県立大)

5. ポスト壁キャビティ付誘電体スラブを装荷した導波管シリーズスロットアレーアンテナ
○山口 聡・荒巻洋二・

高橋 徹・大塚昌孝・小西善彦 (三菱電機)

午後

6. GPUによるモーメント法の高速化に関する研究

○横川 佳・齋藤優輝・袁 巧微 (仙台高専)・
瀬在俊浩 (JAXA)・澤谷邦男・陳 強・今野佳祐・
勝田 肇 (東北大)

7. Implementation and validation of hybrid MoM-FDTD method for analysis of composite structure including inhomogeneous objects

○Jerdvisanop Chakarothai・Jianqing Wang・
Osamu Fujiwara (Nagoya Inst. of Tech.)・Kanako Wake・
Soichi Watanabe (NICT)

8. 可変移相器による指向性切替アンテナの偏波共用化

安部健太・○新井宏之 (横浜国大)・竹村暢康・
満井 勉 (サムソ)

9. 屋内環境におけるMIMOセンサ検出率向上に向けたアンテナ配置法の検討

○本間尚樹 (岩手大)・
西森健太郎 (新潟大)・佐藤宏明・恒川佳隆 (岩手大)

10. [チュートリアル講演] 移動通信の標準化動向とその実現上の課題について

○平松勝彦・星野正幸 (パソニック)

IEEE AP-S Japan Chapter/AP 研特別講演

11. [特別講演] プラズマ中のアンテナの研究 (口頭発表)

澤谷邦男 (東北大)

◆IEEE AP-S Japan Chapter 共催

◎研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆A・P研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月24日(木), 25日(金) アクロス福岡 [締切済] テーマ:一般

6月14日(木) 機械振興会館 [4月10日(火)] テーマ:一般

7月26日(木), 27日(金) 北大 [5月10日(木)] テーマ:衛星通信, 電波伝搬, 一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

石井 望 (新潟大)

E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

★集積回路研究会 (ICD)

専門委員長 吉本雅彦 副委員長 山村 毅

幹事 鈴木弘明・松岡俊臣

幹事補佐 竹内 健・渡辺 理・土谷 亮

日時 4月23日(月) 12:30~18:50

24日(火) 9:00~16:30

会場 つなぎ温泉清温荘 (盛岡市繁字湯の館 33. JR盛岡駅バス送迎あり (往復ともに1回のみ). <http://www8.ocn.ne.jp/~seion-so/index2.html> TEL [019] 629-5553 柏葉保行 (岩手県商工労働観光部))

議題 メモリ (DRAM, SRAM, フラッシュ, 新規メモリ) 技術 23日

1. [招待講演] 19 nm 64 Gbit 4 値 NAND フラッシュメモリの開発

○柴田 昇・神田和重・久田俊記・磯部克明・
佐藤 学・清水有威・清水孝洋・杉本貴宏・小林智浩・
犬塚和子・金川直晃・梶谷泰之・小川武志・
中井 潤 (東芝)・亀井輝彦 (サンディスク)

2. [招待講演] 18 MB/s を実現する 128 Gb 3-bit/cell 19 nm

NAND フラッシュメモリの開発

○亀井輝彦・Yan Li・

Seungpil Lee・大和田 健・Hao Nguyen・Qui Nguyen・

Nima Mokhlesi・Cynthia Hsu・Jason Li・

Venky Ramachandra・東谷正昭・Tuan Pham・

渡邊光恭 (サンディスク)・本間充祥・渡辺慶久 (東芝)

3. [招待講演] 書き込み速度 443 MB/s を実現する 8 Mb 多層クロスポイント ReRAM マクロ

○川原昭文・東 亮太郎・
池田雄一郎・河合 賢・加藤佳一・早川幸夫・辻 清孝・
米田慎一・姫野敦史・島川一彦・高木 剛・三河 巧・
青野邦年 (パソニック)

4. [招待講演] SSD システム信頼性

助川 博 (東芝)

5. [招待講演] エラー予測 LDPC とエラー回復機構により 10 倍の長寿命, エラーを 76% 削減した SSD

○田中丸周平・
柳原裕貴・竹内 健 (東大)

6. [パネル討論] “復興” メモリと日本の明日に向かって

○宮野信治 (半導体理工学研究センター)・佐々木 淳 (岩手県)・
大石基之 (日経 BP 社)・松永翔雲 (東北大)・
竹内 健 (東大)・助川 博 (東芝)

24 日午後

1. [招待講演] メモリインターフェース用非接触高速データ伝送技術

○石黒仁揮・尹 元柱・中野慎也・水原 渉・
小菅敦丈・三浦典之・黒田忠広 (慶大)

2. [依頼講演] 3次元積層ソリッド・ステート・ドライブ向け 4 倍高速, 15% 低消費電力 Vpass (10 V), Vpgm (20 V) 生成電源システム

○畑中輝義・竹内 健 (東大)

3. [依頼講演] MTJ ベース完全並列形不揮発 TCAM の設計

○松永翔雲・羽生貴弘 (東北大)

4. [依頼講演] 3 端子磁壁移動型セルを用いた不揮発性コンテンツアドレスサブルメモリ

○根橋竜介・崎村 昇・
辻 幸秀・深見俊輔・本庄弘明・齊藤信作・三浦貞彦・
石綿延行・木下啓蔵 (NEC)・羽生貴弘・遠藤哲郎・
笠井直記・大野英男 (東北大)・杉林直彦 (NEC)

5. [招待講演] 8T DP-SRAM の Write-/Read-Disturb 問題とその対策回路

○石井雄一郎・塚本康正・
新居浩二・藤原英弘・藪内 誠・田中浩司・田中信二・
島崎靖久 (ルネサス エレクトロニクス)

24 日午後

6. [招待講演] 高速, 低消費電力 6T-SRAM を実現する電荷の同時注入による不良セルの修復技術

○宮地幸祐 (東大)・
鈴木利一・宮野信治 (半導体理工学研究センター)・
竹内 健 (東大)

7. [依頼講演] ビット線振幅量を抑えるチャージシェア階層ビット線方式を用いた 0.4 V 動作 SRAM

○森脇真一・
川澄 篤 (半導体理工学研究センター)・鈴木利一 (パソニック)・
宮野信治・山本安衛・篠原尋史 (半導体理工学研究センター)・
桜井貴康 (東大)

8. [依頼講演] 低電力ディスターブ緩和技術を備えた 40 nm 0.5 V 12.9 pJ/access 8T SRAM

○吉本秀輔・寺田正治・
奥村俊介 (神戸大)・鈴木利一・
宮野信治 (半導体理工学研究センター)・川口 博・
吉本雅彦 (神戸大)

9. [依頼講演] デバイス特性を考慮した 0.5 V 高速 CMOS LSI 向け回路設計

○小田部 晃・伊藤清男・竹村理一郎・
土屋龍太 (日立)・堀口真志 (ルネサス エレクトロニクス)

10. [依頼講演] 低エネルギー比較機能を有する DMR 応用 7T SRAM

○梅木洋平・奥村俊介・中田洋平・柳田晃司・

鍵山祐輝・吉本秀輔・川口 博 (神戸大)・

吉本雅彦 (神戸大/JST)

11. [依頼講演] SRAM と オンチップメモリピストを用いた
チップ ID 生成回路 ○藤原英弘・藪内 誠・中野裕文・

河合浩行・新居浩二・有本和民 (ルネサス エレクトロニクス)

12. SRAM セルを用いた Low 書込みによるチップ ID 生成手法

○奥村俊介・吉本秀輔・川口 博 (神戸大)・

吉本雅彦 (神戸大/JST)

◎会場の「清温荘」の宿泊お申し込みは、下記フォームに記入し
て icd-memory@lsi.t.u-tokyo.ac.jp まで、お送り下さい。宿泊
費は一泊二食付きで 12,000 円 (相部屋) です。

————— 清温荘 宿泊申し込みフォーム —————

氏名, 所属, 性別, 種別: 学生 or 一般 (どちらか残して下さい)

領収書宛先: お名前 or 所属機関名

備考: (何か連絡事項があれば記載下さい)

◎懇親会は夕食を兼ねて行います。清温荘に宿泊なさらずに懇親
会のみ参加御希望の方は icd-memory@lsi.t.u-tokyo.ac.jp に,
その旨御連絡下さい。懇親会のみに参加される場合は 5,000 円
になります。

☆ICD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5 月 28 日 (月)~30 日 (水) 北九州国際会議場 [未定] テー
マ: LSI とシステムのワークショップ 2012

7 月 26 日 (木), 27 日 (金) 山形大米沢キャンパス [未定]
テーマ: アナログ, アナデジ混載, RF 及びセンサインタ
フェース回路

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

竹内 健 (東大)

TEL & FAX [03] 5841-6687

E-mail: icd-memory@lsi.t.u-tokyo.ac.jp

——信越支部における開催——

★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 小瀬木 滋 副委員長 浜 真一

幹事 若山俊夫・谷島正信 幹事補佐 富木淳史・灘井章嗣

日時 4 月 26 日 (木) 13:00~15:45

27 日 (金) 9:40~12:00

会場 宇宙航空研究開発機構白田宇宙空間観測所会議室 (佐久市
上小田切大曲 1831-6. JR 小海線: 白田駅下車, タクシー約 30
分. http://www.jaxa.jp/about/centers/udsc/traffic_j.html
TEL [0267] 81-1230 上野国樹)

議題 宇宙科学ミッション・衛星技術, 及び一般

26 日

1. 月エネルギー伝送衛星 AMATELUS ○荒川清一郎・

武井悠人・堅田佑樹・川口正浩 (東工大)

2. 簡易衛星・地上局シミュレータの開発 (第二報)

永松弘行 (JAXA)

3. スピンロケット搭載用 GPS 受信機のシミュレーション評価

○播磨 健 (東大)・齋藤宏文 (JAXA)・海老沼拓史 (東大)

4. 送受信制御を行う分散型データ融合 ○松崎貴史・

亀田洋志 (三菱電機)

5. 電波到来角度差を用いた特定電波源継続選択方式

○丸山晃佐・亀田洋志 (三菱電機)

6. MIMO レーダテストベッドの開発 ○大槻哲也・

古米秀行・小林岳彦 (東京電機大)

27 日

1. 小型衛星における省電力高速ダウンリンクシステムのための
プリディストーション手法の検討 ○中台光洋・

岩切直彦 (東大)・齋藤宏文 (JAXA)

2. X-band 超小型衛星高速ダウンリンク通信における非線形歪
み補償とシステム特性 ○岩切直彦 (東大)・

齋藤宏文 (JAXA)・中須賀真一 (東大)

3. 月・L 点ミッションへ向けた小型 S 帯トランスポンダの RF
性能 ○平原大地・小林雄太・富木淳史・戸田知朗・

齋藤宏文 (JAXA)

4. 日本の惑星探査機-地球間レーザ測距の要件

○國森裕生 (NICT)・水野貴秀・竹内 央 (JAXA)

5. フェーズドアレイ衛星実験用電波暗室 AMETLAB

○篠原真毅 (京大)・坂本栄樹 (フアラッド)

◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

◎白田駅から白田宇宙空間観測所までのタクシー代は約 6,000 円
です。白田駅でタクシーに相乗りして行くことを考えておりま
すので、相乗り希望の方は幹事まで御連絡下さい。また、26
日研究会終了後に白田局の見学 (約 1 時間) と懇親会を予定し
ていますので御参加下さい。

☆SANE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5 月 18 日 (金) 防衛大 [締切済] テーマ: リモートセンシ
ング及び一般

6 月 28 日 (木), 29 日 (金) JAXA 筑波宇宙センター [4 月
9 日 (月)] テーマ: 宇宙応用シンポジウム

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

若山俊夫 (三菱電機)

TEL [0467] 41-2523, FAX [0467] 41-2419

E-mail: Wakayama.Toshio@ab.MitsubishiElectric.co.jp

谷島正信 (JAXA)

TEL [050] 3362-7573

E-mail: yajima.masanobu@jaxa.jp

——東海支部における開催——

★非線形問題研究会 (NLP)

専門委員長 堀尾喜彦 副委員長 上田哲史

幹事 安達雅春・高坂拓司 幹事補佐 松浦隆文・坪根 正

日時 4 月 19 日 (木) 13:00~17:30

20 日 (金) 9:20~16:30

会場 いせシティプラザ 2F 多目的ホール (伊勢市岩淵 1-2-29.
<http://skc.e-ise.net/plaza/access.htm> TEL [0596] 20-4385
西尾芳文 (徳島大))

議題

19 日

1. Chua 回路を用いた楽器のエフェクターの検討

○木村 睦・大海悠太 (東京工芸大)

2. 非線形 MEMS 共振器を用いたメモリの読出し及び書込み操

- 作に関する一検討 ○八尾 惇・引原隆士 (京大)
3. 二次割当て問題のための同期更新指数減衰カオスタブサーチのハードウェア実装に向けた改良 ○豊田皓仁・堀尾喜彦 (東京電機大)・合原一幸 (東大)・長谷川幹雄 (東京理科大)
4. コントラストの高い白黒二値画像に対するフラクタル符号の重みについて ○北野圭則・上田哲史・西尾芳文 (徳島大)・楊 国安・楊 暘 (西安交通大)
5. 非線形磁気弾性系におけるポテンシャル表現について ○窪田まど華・引原隆士 (京大)
6. カンターレット変換とパルス結合ニューラルネットワークを用いた可視光画像と赤外線画像の合成法の提案 ○生田智敬 (徳島大)・張 松俊 (西安交通大)・上手洋子 (徳島大)・楊 国安 (西安交通大)・西尾芳文 (徳島大)
7. ニューロン新生を持つフィードフォワードニューラルネットワークの性能評価に関する研究 ○横山裕太・糸野紘範・上手洋子・西尾芳文 (徳島大)
8. 抵抗で結合されたカオス回路ネットワークにみられるクラスタリング現象について ○高丸裕司・上手洋子 (徳島大)・オット トーマス (チューリッヒ応用科学大)・西尾芳文 (徳島大)
9. 簡素なスパイク発振器のカオスの分岐とスパイク間隔分布 ○坪根 正・青木崇浩 (長岡技科大)
10. 微小外力を含む4区分線形BVP発振器にみられる振幅死現象とカオスのメカニズムの解明—その2 ○篠塚吉正・稲葉直彦 (明大)・関川宗久 (東大)・遠藤哲郎 (明大)
- 20日午前
1. 確率的労働市場における求職者スコアに基づくジョブマッチング—内定数格差の創発— ○陳 鶴・井上純一 (北大)
2. 情報統計力学による位相アンラッピングへのアプローチ ○雑賀洋平 (群馬高専)・上江洵達也 (奈良女子大)
3. 非収束粒子をもつPSOの解探索能力 ○神尾武司・井瀧悠平・藤坂尚登・生岩量久 (広島市大)
4. ローカルブリッジを持つスモールワールドホップフィールドネットワークによる連想記憶 ○志摩知哉・生田智敬・上手洋子・西尾芳文 (徳島大)
5. ヒステリシス分割最適化法の基本特性 ○神野健哉 (日本工大)・久保田将史・斎藤利通 (法政大)
6. ローカルサーチとグローバルサーチを切り替えるみつばちコロニーアルゴリズムの提案 ○白崎雄大・上手洋子・西尾芳文 (徳島大)
- 20日午後
7. 面結合された正四面体状発振器で観測される同期現象の調査 ○永井隆博・糸野紘範・上手洋子・西尾芳文 (徳島大)
8. 時変遅延結合された発振器ネットワークに生じる振動停止現象の安定性解析 ○杉谷栄規・小西啓治・原 尚之 (阪府大)
9. 弱結合カオス発振器に生じる周期軌道安定化のメカニズム 溝端和範・中西芳秀・小西啓治・原 尚之 (阪府大)
10. 結合したスターリングエンジンの同期による交流発電 嘉田久嗣 (立命館大)
11. 三つの非同期同時振動発振器を結合した系に見られるマルチモード振動 ○藤岡沙織 (徳島大)・楊 暘 (西安交通大)・上手洋子・西尾芳文 (徳島大)
12. 状態・時刻混合型断続動作特性を有する区分線形系に見られるborder collision分岐の一計算法

- 刀根佑輔 (大分大)・合原一幸 (東大)・高坂拓司 (大分大)
13. 分岐理論を用いたE級増幅器における電力変換効率の分布 ○永島和治・魏 秀欽 (千葉大)・高坂拓司 (大分大)・関屋大雄 (千葉大)
14. E級増幅器の設計における各種最適化手法の適用と最適解の性質について 丹治裕一 (香川大)

【問合せ先】

高坂拓司 (大分大)
TEL [097] 554-7799, FAX [097] 554-7790
E-mail : takuji@oita-u.ac.jp

——北陸支部における開催——

★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 桑原伸夫 副委員長 多氣昌生
幹事 石上 忍・内海邦昭 幹事補佐 内田 雄・青柳貴洋

日時 4月20日(金) 12:30~17:00

会場 金沢大学角間キャンパス自然科学系図書館南福祉施設棟1階大会議室(金沢市角間町。金沢駅東口6番バス乗り場より91(平日のみ)・93・94・97金沢大学行き(兼六園下経由)、金沢大学自然研前下車。http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/access/index.html http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/access/images/kakuma2.pdfの右下方「S2」の建物。TEL [076] 234-4858 八木谷聡)

議題 EMC, 一般

1. 健康者の血液に対する複素比誘電率と温度依存性との相関性 ○武田 明 (中部大)・高田和之 (豊田高専)・長尾尋智 (岩倉病院)・王 建青・藤原 修 (名工大)
2. 実環境の複数周波数電波ばく露に対する妊娠女性と子供の全身平均SARの計算 ○浅山遼太・王 建青・藤原 修 (名工大)
3. BGAパッケージの端子に流れる電流測定法及び測定プローブの提案 ○中山武司・北川大作・石井雅博・齊藤義行 (パソニク)
4. BGAパッケージのグランド端子を流れる電流測定とグランド端子配置の最適化 中山武司・北川大作・石井雅博・齊藤義行 (パソニク)
5. シールドシース付き平衡ケーブルのピグテール接地に関する検討 ○渡邊陽介・佐々木雄一・宮崎千春・岡 尚人・三須幸一郎 (三菱電機)
6. LSIチップ上に集積化した磁性薄膜電磁ノイズ抑制体のイントラデカップリング効果 ○室賀 翔・小館 航・遠藤 恭・山口正洋 (東北大)
7. デジタルLSIの電源ノイズに関するオンボード及びオンチップ測定の統合評価 ○吉川薫平・佐々木悠太 (神戸大)・市川浩司 (デンソー)・永田 真 (神戸大)
8. ICの高周波電源ノイズ低減及びイミュニティ向上を目的としたRLダンパ回路の提案 ○山縣亮介・矢野祐典・五百旗頭健吾・豊田啓孝 (岡山大)
9. [特別講演] ロケット, 衛星による波動測定のためのEMC技術とEMI対策 長野 勇 (金沢大)
- ◆IEEE EMC Society Japan Chapter, URSI-E 分科会共催, IEEE EMC Society Sendai Chapter 協賛
- ◎研究会終了後,懇親会を予定していますので奮って御参加下さい。

懇親会場：金沢大学角間キャンパス自然科学系図書館南福祉施設棟2階「すみれ亭」

TEL [076] 221-2027 <http://sumiretei.com/>

☆EMCJ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月31日(木), 6月1日(金) 首都大東京秋葉原サテライト
〔未定〕テーマ：EMC, 一般

6月22日(金) 阪大吹田キャンパス〔未定〕テーマ：EMC,
一般

7月19日(木) 機械振興会館〔未定〕テーマ：若手研究者発表会

7月20日(金) 機械振興会館〔未定〕テーマ：放電・実装,
EMC, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

青柳貴洋(東工大大学院社会理工学研究科人間行動システム専攻)
〒152-8552 目黒区大岡山2-12-1-W9-110
TEL & FAX [03] 5734-2992
E-mail: emcj@mail.ieice.org

——関西支部における開催——

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 鈴木 光 副委員長 浅見 徹
幹事 村山純一・堀 賢治 幹事補佐 外山将司・田坂和之

日時 4月12日(木) 13:30~17:05
13日(金) 10:15~15:10

会場 京都府中小企業会館(京都市右京区西院東中水町17. 阪急西院駅より(南に徒歩15分)市バス西大路五条下車徒歩1分. JR京都駅より市バス西大路花屋町下車徒歩1分. JR丹波口駅より徒歩約13分. <http://www.chusyo-kaikan.jp/access.htm>)

議題 情報家電ネットワーク, ホームネットワーク, スマートグリッド, 省エネルギー, M2M, Participatory Sensing, モバイルネットワーク, ユビキタスネットワーク, 及び一般

12日

- 多粒度時間の時系列解析による検索クエリのトレンド予測手法
○中山裕貴・阿多信吾・岡 育生(阪市大)
- 要求頻度の偏りを考慮したスケラビリティと負荷の平準化を両立する負荷分散手法の検討
○栗田弘之・高田直樹・南 拓也・山下高生・阿川雄資(NTT)
- 〔招待講演〕 マイクロソフト技術を活用したセンサークラウド
太田 寛(日本マイクロソフト)
- 〔招待講演〕 M2Mと通信制御技術
○大塚 晃・相川秀斗・永井幸政・横谷哲也(三菱電機)
- 〔招待講演〕 NAT及びNAT越え技術に関わる最新動向
西谷智広(NTTコミュニケーションズ)

13日午前

- 住設機器制御装置における複数プロトコル対応方式に関する検討
○落合徳彦・濱田和樹・北市隆一(三菱電機)
- 住宅における温熱環境シミュレータの開発と評価実験
○グエン ホアイソン・牧野義樹・リム アズマン オスマン・丹 康雄・篠田陽一(北陸先端大)
- 無線センサ・アクチュエータネットワークにおける複数サー

ビス間での資源共有を実現する自己組織型デバイス割り当て機構の提案と評価
○岩井卓也・若宮直紀・村田正幸(阪大)

13日午後(12:40~)

- 〔招待講演〕 ヒト・モノ・コンテンツをつなぐ大規模情報流通ネットワーク
○寺西裕一(NICT/阪大)・佐々木靖彦(NICT)
- 〔招待講演〕 ライフログの活用を実現するストリーム処理技術の紹介
○喜田弘司・磯山和彦・宮崎陽司・千葉雄樹・佐藤 正・藤山健一郎(NEC)
- 〔招待講演〕 レイヤを越えた最適化の必要性(コンテナDCとクラウド)
堂前清隆(インターネットイニシアティブ)

☆IN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月17日(木), 18日(金) 東工大蔵前会館〔締切済〕テーマ：ワイヤレスインターネット, マルチホップネットワーク, メッシュネットワーク, ネットワーク符号化, クロスレイヤ技術, 無線通信及び一般

6月21日(木), 22日(金) 函館市民会館〔未定〕テーマ：品質制御, 輻輳制御, 信頼性技術, IPTV, コンテンツネットワーク, ネットワークソフトウェア及び一般

7月19日(木), 20日(金) 北大〔未定〕テーマ：新世代・次世代ネットワーク, ネットワークとシステムの仮想化, 仮想化環境の管理・監視, オーバレイ, IPv6 ネットワーク, フォトニックネットワーク及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐
E-mail: in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org
堀 賢治(KDDI 研) TEL [049] 278-7651
田坂和之(KDDI 研) TEL [049] 278-7574

◎IN 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお, 原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり, 原稿なしでの御発表となります. プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい.

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 大鐘武雄 副委員長 大槻知明・樋口健一
幹事 原 嘉孝・浅井孝浩
幹事補佐 須山 聡・星野正幸・二木康則

日時 4月19日(木) 13:00~17:55
20日(金) 9:30~16:10

会場 京都大学百周年時計台記念館国際交流ホールI(京都市左京区吉田本町. JR京都駅より市バス206系統で京大正門前に40分, 徒歩5分. http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_y.htm TEL [075] 753-5789 山本高至)

議題 無線アクセス技術, 一般

19日

- 周波数領域等化システムのためのプレディストーションによる位相雑音対策
○林 和則・金子めぐみ(京大)・小笠原大作(NEC)・酒井英昭(京大)
- ANC-EPWM Transmission of OFDM Signal in RoF Channel
○Xiaoxue Yu・Yasushi Yamao・Motoharu Matsuura・Shinsuke Yokozawa(Univ. of Electro-Comm.)

3. UHF 帯 RFID リーダシステムの試作検討 (送信系) (1)
○荒井雅行・鶴岡 勉 (東京計器)
4. 無線アクセスシステムにおけるマルコフ近似モデルを用いた優先制御方式の検討 ○布 房夫・杉山隆利 (NTT) Express セッション
5. Adaptive Fairness and Throughput Control Approach for Multiuser Scheduling in Wireless Networks
○Lin Shan (Kyoto Univ.)・Sonia Aissa (INRS)・Hidekazu Murata・Susumu Yoshida (Kyoto Univ.)
無線通信における省電力化技術特集セッション
6. 量子化誤差影響下の定包線線変調受信機における非線形等化の検討 小寺康平・○牟田 修・古川 浩 (九大)
7. [依頼講演] 無線 LAN アクセスポイントにおける予約型/非予約型スリープ制御方式への考察 ○黄 俊翔・後藤弘明・秋元 守・飯塚正孝 (NTT)
8. [依頼講演] コヒーレント分散アンテナシステムの研究開発—グリーンワイヤレスの実現に向けて— ○村田英一・吉田 進・山本高至 (京大)・梅原大祐 (京都工繊大)・田野 哲 (岡山大)・守倉正博 (京大)
9. [依頼講演] 尿発電センサーシステムのためのエネルギーハーベスティング技術 道関隆国 (立命館大)
10. [依頼講演] グリーンワイヤレス—無線通信による電力の供給と制御— 阪口 啓 (東工大)
- 20 日午前
1. 高速移動環境下におけるパイロット多重型シングルキャリアブロック伝送の特性評価 ○中村亮介・能田康義・増田進二・平 明德・佐野裕康・久保博嗣 (三菱電機)
2. 双方向マルチホップネットワークにおけるスキューワードパイロットによるチャネル推定手法の一検討 伊藤泰史・輿水佑太・○岡本英二 (名工大)
3. 接続ネットワーク—通信路符号化中継伝送の適応符号化変調に関する一検討 ○衣斐信介・三瓶政一 (阪大)
4. [招待講演] ゲーム理論と無線リソース制御 山本高至 (京大)
- 20 日午後
5. LTE-Advanced 下りリンクにおける参照信号のセル間衝突による干渉抑圧合成受信器への影響に関する検討
○大渡裕介・三木信彦・寒河江佑太・奥村幸彦 (NTT ドコモ)
6. 大中小様々な大きさのセルが混在するセルラ移動通信におけるスループット改善—プリコーディングを用いた基地局アンテナ垂直面内指向性制御及び基地局間協調 MIMO 伝送—
○星野兼次・藤井輝也 (ソフトバンクモバイル)
7. ユーザ分布推定方式を用いた基地局連携送信電力制御アルゴリズムの検討 ○堀 敏典・鈴木晴香・青山哲也・大賀正夫・武 啓二郎 (三菱電機)
8. ブロック対角化 vector perturbation を用いた非線形マルチユーザ MIMO の屋内伝送実験 ○菌部聡司・塚本悟司・北沢祥一・前田隆宏・阿野 進・伴 弘司・宇野雅博・小林 聖 (ATR)
9. 仮想伝搬路ごとの THP 大西遼太 (京大)・
○田野 哲 (岡山大)・守倉正博 (京大)
10. 基地局連携セルラシステムのための基地局アンテナ指向性の最適化 ○杉村独歩・新井麻希・阪口 啓・荒木純道 (東工大)・外山隆行 (パソニックモバイルコミュニケーションズ)・星野正幸 (パソニック)
11. マルチキャリア変調方式を用いたマクロセル・フェムトセル

共存環境のための送信電力割り当て法 ○中野俊彦・金子めぐみ・林 和則・酒井英昭 (京大)

◎19日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。
☆RCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月17日(木), 18日(金) 東工大蔵前会館〔締切済〕
テーマ:ワイヤレスインターネット, マルチホップネットワーク, メッシュネットワーク, ネットワーク符号化, クロスレイヤ技術, 無線通信及び一般

6月21日(木), 22日(金) 函館市中央図書館〔未定〕
テーマ:初めての研究会, 鉄道, 車々間・路車間通信, リソース制御, スケジューリング, 無線通信一般

7月19日(木), 20日(金) 岩手大〔未定〕
テーマ:有線/無線シームレスネットワーク, ハンドオーバー, リレー, 分散 MIMO, モバイル・アドホックネットワーク, ユビキタス・センサネットワーク, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

原 嘉孝 (三菱電機)

E-mail: rcs_ac-entry@mail.ieice.org

★コンピュータシオン研究会 (COMP)

専門委員長 浅野哲夫 副委員長 牧野和久

幹事 伊藤健洋・河内亮周

日時 4月27日(金) 10:00~16:30

会場 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス A12 棟サイエンスホール (堺市中区学園町 1-1. 地下鉄御堂筋線: なかもず駅 (5号出口) から南東へ約 1,000 m, 徒歩約 13 分. <http://www.osakafu-u.ac.jp/access/> キャンパスマップ http://www.osakafu-u.ac.jp/info/campus/nakamozu_zoom.html 宇野裕之)

議題

- リスト復号の質問計算量 河内亮周 (東工大)
- Reconstructing Strings from Substrings with Quantum Queries Richard Cleve (Univ. of Waterloo)・Kazuo Iwama (Kyoto Univ.)・Francois Le Gall (Univ. of Tokyo)・Harumichi Nishimura (Osaka Pref. Univ.)・Seiichiro Tani (NTT)・○Junichi Teruyama (Kyoto Univ.)・Shigeru Yamashita (Ritsumeikan Univ.)
- 3 値マトロイドの生成と White 予想に関する実験 ○平石秀史・今井 浩 (東大)・森山園子 (東北大)
- 写像枝を用いた系列二分決定グラフ ○青木洋士・山下 茂 (立命館大)・湊 真一 (北大)
- Improved method for scheduling partially ordered jobs using dynamic programming with changed orders Keigo Oka (Univ. of Tokyo)
- On the Base-Line Location Problem for the Maximum Weight Region Decomposable into Base-Monotone Shapes Takashi Horiyama (Saitama Univ.)・○Takehiro Ito・Natsuda Kaothanthong (Tohoku Univ.)・Hirota Ono (Kyushu Univ.)・Yota Otachi・Takeshi Tokuyama (Tohoku Univ.)・Ryuhei Uehara (JAIST)・Takeaki Uno (NII)
- 単位円グラフの線形構造をもつ部分クラスについて

○林 貴史・木野 徹・桑原勇人・長澤亮介・芝田悠華・
山崎浩一 (群馬大)

8. 任意の作業領域で効率よく線分交差を列挙するアルゴリズム
○小長谷松雄・浅野哲夫 (北陸先端大)

☆COMP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月14日(月) 愛媛大〔締切済〕

【問合せ先】

伊藤健洋 (東北大学院情報科学研究科)

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05

E-mail: takehiro@ecei.tohoku.ac.jp

——四国支部における開催——

★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 木村丈治 副委員長 漆谷重雄

幹事 萬代雅希・栗本 崇 幹事補佐 武田知典

日時 4月19日(木) 13:00~18:20

20日(金) 10:00~14:40

会場 高知県立大学永国寺キャンパス (高知市永国寺町 5-15.
JR 高知駅から徒歩で約 15 分, 高知龍馬空港から空港連絡バス
で約 40 分. <http://www.u-kochi.ac.jp/access/eikokuji.htm>
西森將時)

議題 トラヒック, NW 評価, 性能, リソース管理・制御, トラ
ヒックエンジニアリング, NW 信頼性・レジリエンス, 一般

19 日

1. 節電施策における装置状態管理手法の提案

○藤原聡一郎・青木良昭・矢崎啓之・成田真也 (NTT)

2. リモート監視における障害原因箇所推定方式

○田村智只・藤井照子・堀内栄一・横谷哲也 (三菱電機)

3. セッション制御系サービスのカスタマコントロールに関する
一考察 ○篠原健太・武居弘純・中村秀文 (NTT)

4. 帯域管理型ネットワークにおけるインターネット通信サー
ビスの提供方式の検討 ○中村孝幸・早瀬清史・相原正夫・
岡本 司 (NTT)

5. 無線 LAN を介した動画像通信におけるビデオフレーム間引
き方式の QoE 評価 ○田中福嗣・平井敏之・和田直哉・
川島幸之助 (東京農工大)

6. Theoretical Analysis of Capacity in Data Acquisition Systems
Considering the Effect of Hidden Terminals

○Wen Yun・Fujita Hiroshi・Yoshida Makoto (Fujitsu Lab.)

7. 無線メッシュネットワークにおける WDS クラスタ分割アル
ゴリズムのスマートアンテナ拡張の一般化

○田島滋人 (阪大)・船曳信生・富里 繁・
秦 正治 (岡山大)・東野輝夫 (阪大)

8. 無線メッシュ網におけるロバスト性を考慮した基地局配置法
野澤真介・○橘 拓至 (福井大)

9. [招待講演] 東日本大震災による通信サービス被害と復旧・
復興への取組み 村松伸隆 (NTT 東日本)

10. [招待講演] 東日本大震災における KDDI の取組み (仮)
岡田利幸 (KDDI)

20 日午前

1. 階層化を用いたスイッチスケジューリング方式の評価

○中川雅弘・服部恭太・君島直樹・片山 勝・三澤 明・
平松 淳 (NTT)

2. アクセス系多段集線における N rate N+1 color marking 適用
時の選択的フレーム廃棄 ○中山 悠・太田憲行 (NTT)

3. 冗長化構成マルチリングにおける障害迂回方式の検討
○柴田浩司・北山健志・北市隆一 (三菱電機)

4. 背景トラヒックへの影響低減を目的とした段階的パス切り替
え手法の提案と評価 ○塩山幹彦・嶋村昌義・
飯田勝吉 (東工大)

20 日午後

5. ISP ネットワークの構造分析 ○秋山紀彦・滝根哲哉 (阪大)

6. 残存次数のエントロピーを用いたネットワーク故障耐性の向
上 ○シン ルー・荒川伸一・村田正幸 (阪大)

7. コスト効率を考慮したキャッシュサーバ配置による ISP 網内
トラフィックの評価 ○渋谷恵美・屏 雄一郎・
大岸智彦 (KDDI 研)

8. サービス統合 IP 網における交流トラヒック推定精度の評価
○杉山隆太・武田知典・宮村 崇・植松芳彦 (NTT)

◎19 日研究会終了後, 懇親会を予定しておりますので御参加下
さい。

☆NS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月17日(木), 18日(金) NII〔締切済〕テーマ: 高度プロ
トコル・ネットワーク技術 (IP 及び高位レイヤルーチ
ング・フィルタリング, マルチキャスト, 品質・経路制御,
IPNW の利用技術 (P2P, P4P, オーバレイ, SIP, NGN),
ネットワークシステム関連技術 (システム構成法, インタ
フェース, アーキテクチャ, ハードウェア・ソフトウェア・
ミドルウェア), 一般

6月21日(木), 22日(金) 山形大〔未定〕テーマ: コア・
メトロシステム, フォトニックネットワーク・システム, 光
ネットワーク運用管理, 光ネットワーク設計, トラヒックエ
ンジニアリング, シグナリング, GMPLS, ドメイン間経路
制御, ネットワーク監視, イーサネット, 光伝達網
(OTN), 高速インタフェース, 光制御 (波長変換・スイッ
チング・ルーチング), 光ノード技術, 光クロスコネク
(OXC), 光分岐挿入多重 (OADM), 光多重・分離装置, 光
信号処理, 光スイッチ素子, 一般

7月19日(木), 20日(金) 岩手大〔未定〕テーマ: 有線/
無線シームレスネットワーク, ハンドオーバー, リレー, 分散
MIMO, モバイル・アドホックネットワーク, ユビキタス・
センサネットワーク, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

NS 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org

武田知典 (NTT) TEL [0422] 59-7434

栗本 崇 (NTT) TEL [0422] 59-3121

◎最新情報は, NS 研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注
意下さい。

★通信方式研究会 (CS)

専門委員長 上田裕巳 副委員長 葉玉寿弥
幹事 島田達也・小崎成治

★コミュニケーションクオリティ研究会 (CQ)

専門委員長 山崎達也 副委員長 高橋 玲・板倉英三郎
幹事 上山憲昭・布目敏郎 幹事補佐 立花篤男

◎本研究会はCS研究会とCQ研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 4月19日(木) 9:00~18:00

20日(金) 8:30~15:00

会場 石垣島官公労八重山会館(石垣市宇登野城72。石垣空港から車で10分。TEL [0980] 82-3714)

議題 サービス品質、クラウド、SDN (Software-Defined Network)、コンテンツ配信、一般

19日午前

CS-1. 大規模災害時の通話確保 太田昌孝(東工大)

CS-2. 仮想ホームネットワークの構築によるEVバッテリーのポータビリティの実現法の提案 恩田悠永(慶大)

CS-3. ネットワーク・トポロジー上のトラフィック可視化手法について 神谷和憲(NTT-COM)

CQ-4. Realtime Content Delivery using Client-Side Aggregation
○Marat Zhanikeev・Hitoshi Watanabe (Tokyo Univ. of Science)

CQ-5. Huygensの原理とくりこみ変換に基づく新しい自律分散的構造形成技術の提案
○高木健志・会田雅樹(首都大東京)・高野知佐(広島市大)・成瀬 誠(NICT)

CQ-6. Exploiting User Mobility for Load Balancing and Improving QoS in Wireless LANs
○Bo Gu (Waseda Univ.)・Kyoko Yamori (Asahi Univ.)・Sugang Xu・Yoshiaki Tanaka (Waseda Univ.)

CQ-7. A VANET routing protocol with full utilization of opportunism
○Celimuge Wu・Satoshi Ohzahata・Toshihiko Kato (Univ. of Electro-Comm.)

CS-8. TCPの性能を考慮した複合型ロバスターティング方式
○鍋田敬寛・漆原和孝・陳 文傑・福島行信・横平徳美(岡山大)

CS-9. 長距離広帯域ネットワークにおけるフロー間帯域公平性を考慮したトラフィック制御方式
○長谷川裕也・馬場健一・下條真司(阪大)

CS-10. 消失訂正符号適用時の伝送効率に対する検討
○飯島昌平・石橋孝一(三菱電機)

19日午後(13:40~)

CQ-11. ミドルレイヤ型ネットワークアーキテクチャにおけるQoS制御可能な仮想ネットワーク提供機能の検討
○嶋村昌義(東工大)・山中広明(NICT)・飯田勝吉(東工大)・永田 晃(九工大)・石井秀治・河合栄治(NICT)・鶴 正人(九工大)

CQ-12. マルチパスルーティングにおける通信品質を考慮に入れた経路選択方法
○篠原悠介・逸身勇人・千葉靖伸・下西英之(NEC)

CQ-13. OpenFlow ネットワークにおけるドメイン縮約を用いた階層型ネットワーク構築手法の提案
○芦田優太・小出俊夫・下西英之(NEC)

CQ-14. SLAを保証する最小変更コストのネットワーク再設計法
○逸身勇人・篠原悠介・千葉靖伸・下西英之(NEC)

共通-15. [特別講演] 音情報通信のデジタル化を求めて
北脇信彦(筑波大)

共通-16. [特別招待講演] PONとWiFi/WiMAXによるユビキタスブロードバンドネットワークの新提案
○西山大樹・本田正浩・加藤 寧(東北大)・氏川裕隆・鈴木謙一・吉本直人(NTT)

共通-17. [特別招待講演] QoE評価とトラフィック制御技術
吉野秀明(NTT)

共通-18. [特別招待講演] サイバーフィジカル時代を支える光ネットワーク技術
陶山茂樹(NEC)

20日午前

CS-1. バードモニタリングシステムの開発
○菅原大地・阿達 透・間瀬憲一(新潟大)

CS-2. デジタルサイネージへの無線適用検討(1)—複数画面連携の課題と提案—
○平井博昭・角 武憲・石橋孝一(三菱電機)

CS-3. デジタルサイネージへの無線適用検討(2)—広告配信確認機構の課題と提案—
○角 武憲・平井博昭・石橋孝一(三菱電機)

CS-4. Spatial and Temporal Resource Utilization in Cognitive Networks for Non-Real-Time Applications
○Tetsuro Ueda・Takeshi Kitahara・Norihiro Fukumoto・Shigehiro Ano (KDDI Labs.)

CS-5. 複数アクセス制御混在ネットワークにおける干渉回避方式
○高塚雄也・三好貴弘・山内尚久・大塚 晃・横谷哲也(三菱電機)

CS-6. 時刻同期を用いた間欠送受信制御に関する検討
○早馬道也・高塚雄也・山内尚久・大塚 晃・横谷哲也(三菱電機)

CQ-7. ウェブ検索サービスにおけるユーザが感じる推薦情報品質とITリテラシーとの関係
○藤田尚樹・片岡典史・片岡良治(NTT)

CQ-8. 分散仮想環境における香りの出力タイミングの動的制御
○黄 平国・石橋 豊・福嶋慶繁・菅原真司(名工大)

CQ-9. 多視点ビデオ・音声IP伝送のための複数視点同時配信方式のQoE評価
山本 誠・○布目敏郎・田坂修二(名工大)

CQ-10. 4K映像伝送装置と6チャンネルエコキャンセラを用いた超高臨場遠隔コラボレーションシステム
○金 順暎・仲地孝之・江村 暁・藤井竜也・羽田陽一(NTT)

20日午後

CS-11. スイッチ多段接続時のユーザ間帯域公平制御方式
○川手竜介・藤井照子・坂上佑介・堀内栄一・横谷哲也(三菱電機)

CS-12. L2スイッチ内蔵PON OLTにおける省電力化の検討
○坂上佑介・川手竜介・堀内栄一・横谷哲也(三菱電機)

CS-13. PONシステムにおける省電力化の一検討
○山下晃広・末廣 雄・平野幸男・小崎成治・横谷哲也(三菱電機)

CS-14. 次世代アクセスシステム用マルチレートCDRに関する一検討
○末廣 雄・鈴木巨生・小崎成治(三菱電機)

CS-15. フレキシブル仮想光トランスポート制御技術

○植松芳彦・増田暁生・宮村 崇・平松 淳 (NTT)
CS-16. スマートフォンを用いたクラウドロボット動作のための
シミュレーション環境の提案 ○土屋竜一・島崎翔太・
坂井智紀・寺田周平・五十嵐勝洋・塙 大・
小口喜美夫 (成蹊大)

◎19日研究会終了後、懇親会を予定しておりますので是非とも
御参加下さい。

会場：豊年満作 石垣店 (研究会会場より徒歩 10 分程度)

☆CS 研究会

【問合せ先】

島田達也 (NTT アナログ・デバイスシステム研究所)
TEL [046] 859-2275, FAX [046] 859-5513
小崎成治 (三菱電機)
E-mail: kanji2011@csken.org

◎最新情報は、CS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/>

☆CQ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月12日(木), 13日(金) 愛媛大 [未定] テーマ:映像/
音声サービスの品質, メディア品質, ネットワークの品質・
QoS 制御, 次世代/新世代ネットワークアーキテクチャ,
災害時のネットワークとコミュニケーション, 一般

【問合せ先】

上山憲昭 (NTT)
TEL [0422] 59-4763, FAX [0422] 59-5671
布目敏郎 (名工大)
TEL & FAX [052] 735-7785
E-mail: cq_ac-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は、CQ 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/>

★シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

専門委員長 遠藤哲郎 副委員長 奈良安雄
幹事 小野行徳・野村晋太郎 幹事補佐 笹子佳孝

★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 白井博明 副委員長 加藤景三
幹事 松田直樹・中村二郎 幹事補佐 酒井正俊

日時 4月27日(金) 13:00~17:30
28日(土) 9:00~12:30

会場 沖縄県青年会館 (那覇市久米 2-15-23. モノレール旭橋駅
下車徒歩 5 分. <http://www.okiseikan.or.jp/new/news.php>)

議題 薄膜 (Si, 化合物, 有機, フレキシブル) 機能デバイス・
材料・評価技術及び一般

27 日

- 〔招待講演〕 有機薄膜太陽電池の研究開発
當摩哲也 (金沢大)
- 〔招待講演〕 有機-無機ハイブリッド光学材料創製とその光
デバイス応用 杉原興浩 (東北大)
- 高移動度を有する正孔輸送性アモルファス分子材料を用いる
有機薄膜太陽電池の作製と評価 ○景山 弘 (琉球大)・
大森 裕 (阪大)・城田靖彦 (福井工大)
- 固液界面におけるチトクローム c の吸着過程と機能のその場
観察—スラブ光導波路分光法を用いた紫外可視吸収スペクトル
のその場測定— ○松田直樹・岡部浩隆 (産総研)

5. バイオナノプロセスを用いたフィラメント制御及び抵抗変化
メモリにおける効果 ○上沼陸典・番 貴彦・鄭 彬・
山下一郎・浦岡行治 (奈良先端大)

6. 〔招待講演〕 連続発振レーザ横方向結晶化法によるガラス基
板上 Si と SiGe 薄膜の成長 ○北原邦紀 (島根大)・
原 明人 (東北学院大)

7. 〔招待講演〕 ダブルラインビーム連続発振レーザラテラル結
晶化によるシリコン薄膜の 3 軸結晶制御と TFT
黒木伸一郎 (東北大)

8. 青色半導体レーザアニールによる薄膜シリコンの結晶状態の
制御 ○白井克弥・ムジラネザ ジャン デュ デュ・
鈴木俊治・岡田竜弥・野口 隆 (琉球大)・松島英樹・
橋本隆夫・荻野義明・佐保田英司 (日立コンピュータ機器)

9. 青色半導体レーザアニールによるポリイミド基板上薄膜シリ
コンの結晶化 ○岡田竜弥・ムジラネザ ジャン デュ デュ・
白井克弥・鈴木俊治・野口 隆 (琉球大)・松島英樹・
橋本隆夫・荻野義明・佐保田英二 (日立コンピュータ機器)

10. 埋め込みゲート構造を有するガラス上の自己整合メタルダブ
ルゲート低温 poly-Si TFT ○尾形浩之・一條賢治・
近藤健二・岡部泰典・鹿 裕将・加茂慎哉・
原 明人 (東北学院大)

11. 低温成膜 nc-Si 膜を用いた bottom gate TFT
○宿久明日香・高橋英治・安東靖典 (日新電機)

28 日

1. 〔招待講演〕 軟 X 線照射のみによる半導体非晶質膜の低温結
晶化 ○松尾直人・部家 彰・望月孝晏・宮本修治・
神田一浩 (兵庫県立大)

2. 〔招待講演〕 紫外ダイオードレーザによる Si 膜の溶融再結晶
化 ○葉 文昌・新石倫太 (島根大)

3. 絶縁膜上における Ge(Si) 薄膜の溶融成長—Si 偏析効果による
大粒径化— ○加藤立葵・黒澤昌志・横山裕之・
佐道泰造・宮尾正信 (九大)

4. マイクロ熱プラズマジェット照射によるポーラスシリコン層
上 Si 膜のエピタキシャル成長 ○林 将平・松原良平・
藤田悠二・池田弥央・東 清一郎 (広島大)

5. マイクロ熱プラズマジェット結晶化におけるアモルファスシ
リコン細線及びスリットマスクを用いた結晶成長制御
○藤田悠二・林 将平・東 清一郎 (広島大)

6. 界面酸化膜挿入型 Au 誘起層交換成長法による大粒径
Ge(111)/絶縁膜の低温成長—界面酸化膜厚依存性—
○鈴木恒晴・朴 鍾ヒョク・黒澤昌志・宮尾正信・
佐道泰造 (九大)

7. RF スパッタ法により製膜した SiO₂ 及び SiN 薄膜の電気特性
評価 ○屋宜佳佑・岡田竜弥・野口 隆 (琉球大)

8. 高性能ポリシリコン TFT に向けたスパッタ成膜したリン
ドープシリコン膜の結晶化 ○西ノ原拓磨・
ジャン デデュウ ムジラネザ・白井克弥・鈴木俊治・
岡田竜弥・野口 隆 (琉球大)・大鉢 忠 (同志社大)・
松島英樹・橋本隆夫・荻野義明・
佐保多英二 (日立コンピュータ機器)

9. スパッタエピタキシー法による Ge の pin 接合ダイオードの
作製 ○杉原圭祐・松本章広・葉 文昌 (島根大)

☆SDM 研究会

【問合せ先】

小野行徳 (NTT)
TEL [046] 240-2641, FAX [046] 240-4317

E-mail : ono.yukinori@lab.ntt.co.jp

☆OME 研究会

【問合せ先】

松田直樹（産総研）

E-mail : naoki.matsuda@aist.go.jp

中村二郎（NTT）

E-mail : jnaka@aecl.ntt.co.jp

酒井正俊（千葉大）

E-mail : sakai@faculty.chiba-u.jp

——今後の予定——

★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 岡田真人 副委員長 西井 淳

幹事 花沢明俊・小澤誠一 幹事補佐 三浦健一郎・佐藤直行

☆NC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月28日(木), 29日(金) 沖縄科技大 [4月13日(金)] 発表

募集テーマ:機械学習によるバイオデータマイニング, 一般情報処理学会; バイオ情報学研究会連催. 日本神経回路学会, IEEE CIS-Japan 共催

【発表申込先】 発表申込システムより電子的に行ってください.

<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tid=NC>

【問合せ先】

小澤誠一（神戸大）

TEL [078] 803-6466

E-mail : ozawasei@kobe-u.ac.jp

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第16回ネットワークソフトウェア研究会

委員長 水野 修（工学院大）

委員会の内容

本時限研究専門委員会は、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について研究・実用化の両面に関して議論をします。

期日 平成24年6月21日(木), 22日(金)

会場 函館市民会館

テーマ: サービス高度化に対応するためのネットワークソフトウェア技術+一般

※情報ネットワーク研究会 (IN) との併催

概要

ネットワークサービス高度化の要求に応えるため、コンテンツデリバリネットワーク、アドホックネットワークなど様々なネットワークソフトウェア基盤技術が盛んに研究開発されています。一方で、ネットワークインフラにも同様に高度化が求められています。例えば、今まで音声の主としてきたインフラに対し、スマートフォンの出現によって、複数メディア（音声、データ、映像など）の協調サービスを提供するといった高度化の要求が生じ

ます。この実現のためには、通常音声のみを提供する交換網を介して行っていた通信を、IPによるEnd-to-End通信を行うためのインフラへマイグレーションしていくことが必要となります。今後新たなネットワークサービスの出現により、このようなマイグレーションは必須となり、いかにその品質、スケーラビリティ、信頼性を損ねることなく、かつコストミニマムに実現するかが問われ、ネットワークソフトウェアへの要求も高まることが想定されます。本研究会では、新たなネットワークサービスの登場に対応可能なネットワークソフトウェア技術の方向性について幅広く議論を行います。

- ・ネットワークサービスの高度化に対応するネットワークソフトウェア基盤技術の提案
- ・インフラ高度化に伴うマイグレーション実現のためのネットワークソフトウェア技術の提案
- ・マイグレーションを実現したネットワークを運用するためのソフトウェア技術の提案
- ・その他一般

本研究会の特徴

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。受賞対象は有意義なディスカッションを頂きました参加者となりますので、是非活発な議論をお願い致します。

【発表形式】

下記2種類の発表形式からお選び下さい。

一般講演: 掘り下げた議論を御希望の方向け

1件当たり約50分(質疑含む)という十分な時間をかけ、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。

ポジションペーパー: 構想段階等にて意見を収集したい方向け

1件当たり約5~10分程度で、一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

【一般講演の申込と原稿提出】

・申込方法

講演者氏名、共著者名、所属、講演題目、概要(400字程度)、連絡先(住所、E-mailアドレス、電話番号、FAX番号)、講演者の方の参加費種別(一般/学生)を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。講演者の方は参加申込もされたものとみなしますので、下記参加申込に関する注意事項も合わせて御確認下さい。

締切(一般講演申込): 5月17日(木)

・原稿提出方法

PDFファイルにて、電子メールでお送り下さい。原稿の体裁は規定していませんが、PowerPointなどの発表スライドを原稿として提出される場合は、1ページ当たり1スライドとなるようPDF化して下さい。発表スライドで頂きました原稿は、投稿状況に応じて1ページ当たり2スライドまたは4スライドの形式で予稿集へ掲載させて頂きましますので、あらかじめ御了承下さい。

締切(一般講演原稿提出): 6月7日(木)

【ポジションペーパーの申込と原稿提出】

申込方法は、上記の一般講演と同様です。原稿は、PDF ファイル (A4 判 1 枚・様式自由) にて、電子メールでお送り下さい。

締切 (ポジションペーパー申込・原稿提出) : 6 月 7 日 (木)
※ポジションペーパーの申込・原稿提出は上記期日を過ぎてからも受け付けます。ただし、期日以降の申込・原稿提出を御希望の方は、事前に電子メール等にてお問合せ下さい。また、期日以降の申込みでは予稿集に氏名・所属が掲載されませんので御注意下さい。

【参加申込】

氏名、所属、連絡先 (住所、E-mail アドレス、電話番号、FAX 番号)、参加費種別 (一般/学生) を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。研究会に参加した方々の議論・意見交換活性化のため、当日紙配布する参加者名簿に氏名・所属・E-mail を掲載予定ですが、問題等ございましたら御連絡下さい。

締切 (参加申込) 6 月 7 日 (木)

【参加費と参加費支払方法】

一般 6,000 円 学生 3,000 円

参加費を下記の期日までにお振り込み下さい。なお、振込後の参加費の返還には応じかねますので、御了承下さい。請求書もしくは領収書が必要な場合は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。

振込先 みずほ銀行 三鷹支店
口座名 : ネットワークソフトウェア研究会
口座番号 : 普通 4298770
締切 (参加費振込) 6 月 20 日 (水)

【講演・参加申込先・原稿提出先】

西村豪生 (NTT)
〒180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11
TEL [0422] 59-7339 E-mail : nws-kanji@mail.ieice.org

【研究会全般に関する問合せ先】

別所寿一 (NTT) TEL [0422] 59-6921
主催 ネットワークソフトウェア時限研究専門委員会
<http://www.ieice.org/~nws/>

●..... 2012 年電子情報通信学会ソサイエティ大会講演募集案内予告 ●

期 日 2012 年 9 月 11 日 (火)~14 日 (金)

会 場 富山大学 (富山市)

2012 年電子情報通信学会ソサイエティ大会は、基礎・境界、通信、エレクトロニクスの 3 ソサイエティ合同にて行われます。ソサイエティ大会講演募集案内等の詳細は 5 月号会告、またはホームページにて 5 月上旬より御覧頂けます。

5 月上旬からインターネット講演申込登録受付を行う予定です。

情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループにつきましては、FIT2012 (次ページ) を御覧下さい。

本会発行新刊案内

プログラムによる実動作の理解

Excel で学ぶ組込みシステム要素技術

並木淳治 著

B5 判並製 定価 2,940 円(税込)

日本の産業競争力の基盤となる家電、携帯情報端末等の機器には“組込みソフト”と呼ばれるソフトウェアが実装され、特有のサービスを提供している。その多くは、体系的・継続的な開発よりも“一品開発”的要素が強く、個々の要素技術について洗練されたエレガントな理解力を得ることは難しい。そこで今回、組込み系に必要な代表的要素技術を抽出・網羅し、全て Excel による状態変数解析で実際の動作を理解できる教育プログラムを作成した。各要素技術に関わるパラメータのスライド変化等によって、その本質を理解し、更に具体的処理内容についても事例で追えるようにした。本書は、組込み系の修士課程程度の学生を対象に書かれているが、難易度からは学部低学年学生や、既に職場で活躍されている技術者の方々にも受入可能な内容となっている。是非、一度手にとり御購読頂きたい。

《内容目次》制御基礎 (一次系制御) / 高次系制御 / 最適制御 / 位相同期 / 直交原理に基づく第二の制御形 / マルコフ過程の定常解 / 直交変換 / 暗号化 / 複雑系 / 電話網設計 / ランダムアクセス / 誤り制御 / 変復調方式 / サンプル値系の折返し雑音 / 回路解析 / ラプラス多項式の時間解 / 付録

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail : kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2 割引・送本費 500 円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 **電子情報通信学会**



【会期】 2012年9月4日(火)～6日(木)
【会場】 法政大学小金井キャンパス
 (東京都小金井市)

電子情報通信学会情報・システムソサイエティ (ISS) 並びにヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) と情報処理学会 (IPJS) とは、2002年頃から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム (FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2012年9月には第11回目を法政大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れを汲むものですが、従来の大会の形式に捉われずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

皆様の研究成果発表の場として、論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

論文誌への道!

「FIT 査読付き論文」で優秀論文を論文誌へ推薦する制度

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度がございます。「FIT 査読付き論文」の申込みと合わせて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2012年6月22日(金)に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

「FIT 論文表彰制度」

FIT の特徴の一つは、船井ベストペーパー賞、FIT 論文賞、ヤングリサーチャー賞からなる論文表彰制度にあり、以下のようにまとめられます。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

船井ベストペーパー賞	FIT 査読付き論文で採択された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の5%を上限として優秀な論文を推薦し最終的に10件程度の論文を選定。選定された論文の中から受賞論文3件程度を選定。受賞論文には、表彰式 (FIT2012 会期中) にて賞金 20 万円を船井情報科学振興財団より贈呈。
FIT 論文賞	上記船井ベストペーパー賞と同様の選定手続きを経て選定された論文10件程度の中から受賞論文7件程度を選定。受賞論文には、表彰式 (FIT2012 会期中) にて賞金 5 万円を FIT 推進委員会より贈呈。
ヤングリサーチャー賞	発表件数の1.5%を上限として、2012年12月31日現在で33歳未満の講演者(査読付き論文及び一般論文)を対象に優れた発表を選定。受賞者には賞金3万円を次回のFIT2013の表彰式にてFIT推進委員会より贈呈。

【申込みの方法、注意事項】

講演申込み及び論文原稿投稿は FIT2012Web サイトよりお願い致します。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。なお、会場数、会期日数など制約によりプログラム編成上、講演分野の変更を行うこともございますのであらかじめ御了承下さい。

【講演募集内容】

最近行った研究及び調査の報告、または成果を上げた新しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のある未発表のものに限ります。

論文の種類には、FIT 査読付き論文と FIT 一般論文があります。

FIT 査読付き論文 (4～8 ページ程度)

FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) (6～8 ページ程度)

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大8ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。

【注1】 査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います (一般論文での発表となります)。

【注2】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野 (研究会) については、Web ページの募集分野で最新情報を御確認下さい。

【注3】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野 (研究会) の選択は申込者様御自身の責任において適切に選択して下さい。

【注4】 申込締切後、研究会での査読を行う際に、該当研究会で明らかに分野違い (研究会違い) と判断された論文については、査読プロセスには乗らずにクイックリジェクト (即不採録) され FIT 一般論文扱いとなりますのであらかじめ御了承下さい。

【注5】 FIT 査読付き論文でページ数が4ページ以上ない場合はクイックリジェクト (即不採録) され FIT 一般論文扱いとなります。

【注6】 FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) でページ数が6ページ以上ない場合は「論文誌推薦はしない」に即決し、FIT 査読付き論文としてのみの査読になります。

【注7】 御自身の論文内容と一致した分野 (査読受け入れ研究会) がない場合には、申し訳ございませんが FIT 査読付き論文として受け入れることができませんので、FIT 一般論文でのお申込みをお願い致します。

■申込主要日程

- 登録申込/投稿受付開始 : 2012年3月7日(水)
- 登録申込締切/査読用原稿の投稿締切 : 2012年4月18日(水)
- 査読の採否結果通知 : 2012年6月22日(金)

- 論文誌への推薦可否結果通知 (推薦希望者のみ) : 2012年6月22日(金)
- 最終原稿投稿締切 : 2012年7月2日(月)

FIT 一般論文 (2～8 ページ程度)

情報技術に関する研究成果や調査報告等、広く募集致します。論文ページ数は2～8ページ程度になります。

また、査読を行わない分、登録申込・投稿受付開始並びに投稿締切が、「査読付き論文」の申込に比べて約2か月遅くなります。

■申込主要日程

登録申込/投稿受付開始: 2012年4月25日(水)
登録申込締切: 2012年5月24日(木)
最終原稿投稿締切: 2012年7月2日(月)

【募集分野】

以下の15の分野で論文の募集を行います。

なお論文募集, FIT 査読付き論文の査読などは, 電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ, ヒューマンコミュニケーショングループ)と情報処理学会との研究会で進めます。各分野に対応する研究会は以下ようになります。

※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ, ◇は電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ, ☆は情報処理学会を示します。

FIT 査読付き論文の募集は行わず FIT 一般論文のみの募集となる研究会がございますので御注意下さい。

は FIT 査読付き論文も受け付ける研究会(研究分野)

● A: モデル・アルゴリズム・プログラミング

A-1 ☆アルゴリズム(AL)

A-2 ☆数理モデル化と問題解決(MPS)

A-3 ☆プログラミング(PRO)

A-4 ※コンピュータシミュレーション(COMP)

● B: ソフトウェア

B-1 ☆ソフトウェア工学(SE)

B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)

B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム(OS)

B-4 ☆デジタル・ドキュメント(DD)

B-5 ※ソフトウェアサイエンス(SS)

B-6 ※知能ソフトウェア工学(KBSE)

● C: ハードウェア・アーキテクチャ

C-1 ☆システム LSI 設計技術(SLDM)

C-2 ☆計算機アーキテクチャ(ARC)

C-3 ☆組み込みシステム(EMB)

C-4 ※コンピュータシステム(CPSY)

C-5 ※ディペンダブルコンピューティング(DC)

C-6 ※リコンフィギャラブルシステム(RECONF)

C-7 ※再生可能集積システム(RIS)

● D: データベース

D-1 ☆データベースシステム(DBS)

D-2 ☆情報基礎とアクセス技術(IFAT)

D-3 ※データ工学(DE)

● E: 自然言語・音声・音楽

E-1 ☆自然言語処理(NL)

E-2 ☆音声言語情報処理(SLP)

E-3 ☆音楽情報科学(MUS)

E-4 ※言語理解とコミュニケーション(NLC)

E-5 ※音声(SP)

● F: 人工知能・ゲーム

F-1 ☆知能システム(ICS)

F-2 ☆ゲーム情報学(GI)

F-3 ※人工知能と知識処理(AI)

F-4 ※情報論的学習理論と機械学習(IBISML)

● G: 生体情報科学

G-1 ☆バイオ情報学(BIO)

G-2 ※ニューロコンピューティング(NC)

G-3 ※ME とバイオサイバネティクス(MBE)

G-4 ※医用画像(MI)

G-5 ※身体性情報学(IEB)

● H: 画像認識・メディア理解

H-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)

H-2 ※パターン認識・メディア理解(PRMU)

● I: グラフィクス・画像

I-1 ☆グラフィクスとCAD(CG)

I-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理(AVM)

I-3 ☆エンタテインメントコンピューティング(EC)

I-4 ※画像工学(IE)

● J: ヒューマンコミュニケーション&インタラクション

J-1 ☆ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)

J-2 ※異文化コラボレーション(IC)

J-3 ※クラウドネットワークロボット(CNR)

J-4 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)

J-5 ◇ヒューマン情報処理(HIP)

J-6 ◇ヒューマンプロンプト(HPB)

● K: 教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

K-1 ※教育工学(ET)

K-2 ※サイバーワールド(CW)

K-3 ※マルチメディア情報ハンディンク・エンリッチメント(EMM)

K-4 ◇マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)

K-5 ◇福祉情報工学(WIT)

● L: ネットワーク・セキュリティ

L-1 ☆インターネットと運用技術(IOT)

L-2 ☆コンピュータセキュリティ(CSEC)

L-3 ☆システム評価(EVA)

L-4 ☆セキュリティ心理学とトラスト(SPT)

L-5 ※情報通信システムセキュリティ(ICSS)

● M: ユビキタス・モバイルコンピューティング

M-1 ☆グループウェアとネットワークサービス(GN)

M-2 ☆ユビキタスコンピューティングシステム(UBI)

M-3 ☆モバイルコンピューティングとユビキタス通信(MBL)

M-4 ☆高度交通システム(ITS)

M-5 ☆マルチメディア通信と分散処理(DPS)

M-6 ※ユビキタスコンピューティング(UBIC)

● N: 教育・人文科学

N-1 ☆コンピュータと教育(CE)

N-2 ☆人文科学とコンピュータ(CH)

N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤(EIP)

N-4 ☆教育学習支援情報システム(CLE)

● O: 情報システム

O-1 ☆情報システムと社会環境(IS)

O-2 ※ライフインテリジェンスとオフィス情報システム(LOIS)

O-3 ※ソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)

O-4 ※サービスコンピューティング(SC)

【使用言語】

日本語または英語

【論文ページ数・講演時間】

FIT 一般論文ページ数: 2~8 ページ程度

FIT 査読付き論文ページ数：4～8 ページ程度
FIT 査読付き論文（論文誌推薦希望）：6～8 ページ程度
※3 ページ目以降から1 ページ当り 3,000 円のページチャージ
講演時間：1 件 20 分（発表時間 15 分，質疑時間 5 分）

〔講演使用機器〕

FIT 査読付き論文，FIT 一般論文とも PC プロジェクターとします。PC は各自持参をお願いします。

〔講演者の資格〕

講演者の資格は以下のとおりです。

会 員	電子情報通信学会，情報処理学会，電気学会，照明学会，映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会（KIISE，大韓電子工学会，IEEE/Com. Soc.，IEEE/PHO，IEEE/MTT-S，IEEE/CS）または情報処理学会と協定を締結した海外の学会（ACM，IEEE，IEEE/CS，KIISE，CSI）の個人会員に限ります。
非会員	上記の学会会員以外の方。

〔講演参加費（税込み）〕

講演参加費は，基本原稿掲載料 2 ページ，講演料，聴講料，論文集 DVD-ROM，プログラム，参加章の代金を含みます。なお，DVD-ROM は FIT 開催前に講演者の方に送付しますが，プログラム，参加章は会場でのお引き渡しとなります。

また，登録申込締切り後，講演の取消しをされても講演参加費等お申込内容に基づく費用につきましてはお支払いを頂くことに

なりますので御注意下さい。

正会員	10,000 円
学生会員	6,000 円
一般非会員（社会人）	20,000 円
学生非会員	12,000 円

〔エキストラページ費用（税込み）〕

エキストラページ（3 ページ目以降）を利用された場合には，講演参加費にプラスして以下の費用を頂きます。

エキストラページ費：1 ページ当り 3,000 円

〔別刷代（FIT 査読付き論文の採択者のみ）（税込み）〕

FIT 査読付き論文に採択された方には論文の別刷（100 部）を御購入頂きます。別刷代は，エキストラページの有無に関わらず 20,000 円となります。

〔講演者予稿分冊頒布〕

講演者には，御自身の論文が掲載されている講演論文集を 1 部に限り，8,000 円で，講演申込時に同時受付致します。御希望の方は講演申込書の「講演論文集を希望する」にチェックをお願いします。

なお，講演論文集の一般販売は，個人購入の場合 1 部 12,000 円，団体購入の場合 15,000 円となります。

〔最新情報確認のお願い〕

FIT2012 に関する最新情報は，FIT2012Web サイトへ逐一掲載してまいりますので御確認をお願い致します。

本会発行新刊案内

光波を深く理解するための足がかり

光波工学の基礎

井筒雅之 著

A5 判上製 定価 4,095 円(税込)

光エレクトロニクス，フォトリソグラフィをはじめ種々の光技術は，今や社会を支える上でなくてはならない基礎技術である。そして光技術の根幹の一つが光波工学である。様々な光デバイスやシステムの動作原理を理解し，光波利用の新しい着想を得たり，技術分野を切り開いていく上で，光波が電磁波としてどのように振る舞うのかを正しく把握しておくことが，極めて重要である。

本書ではその基礎として，光波を電磁波として捉え，マクスウェルの方程式を土台に，平面波から光波モードの概念導入までをまとめている。読者には，電気系の大学卒業程度の知識を前提とし，大学院学生，あるいは，技術分野で活躍する社会人が，これらの基礎を確かめる際に役立てばと願っている。

《内容目次》電磁波としての光波／平面波の反射と透過／多層構造における反射と透過／フーリエ解析／応答とスペクトル／光波と媒質／複屈折／回折／ビーム波／光導波現象，導波モード／放射モード，その他のモード／種々の光導波路

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail: kaiin@ieice.org

正員，学生会員等の個人会員の方の注文を承ります。2 割引・送本費 500 円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 電子情報通信学会

平成 24 年度春季 先端オープン講座開講 —— 御案内と受講者募集 ——

本講座は、平成 24 年度から年 1 回の開講となり、平成 24 年度は、この春季講座開講のみとなりますので、御注意をお願い致します。

本講座は、電子情報通信分野における若手技術者から中堅技術者まで、また基礎的事項の理解から専門的事項、最新動向の理解・習得まで、幅広いニーズに応える講座として、既に 6,000 人を越える受講者実績となっています。

また、継続的な教育・能力開発 CPD (Continuing Professional Development) の実行が技術者に強く求められる時代となってきました。本講座は、まさにこのような時代の要請を先取りするものとなっています。現在本会の CPD トライアルが開始されたこともあり、Aa, Cs, Cp, D, F コースは 15 ポイント、A 回コースは 30 ポイントの CPD ポイント獲得となりますので、この機会に是非、CPD 会員に登録され、積極的に活用して下さい。詳細はこちら <http://www.ieice.org/jpn/cpd/cpdtry.html>

本講座のねらいと特徴

- ・技術者・研究者個人のスキルアップ及び企業における職域転換に伴う再教育
- ・基礎から専門分野まで幅広く対応
- ・基礎分野における基本的概念の理解と技術の体系的習得
- ・専門分野における関連技術の最新動向の習得
- ・学会活動の一環としての低廉な受講料と各分野第一級の講師陣による直接指導
- ・技術者の継続的な教育・能力開発として位置付けられる CPD との連携

詳細はこちら <http://www.ieice.org/jpn/cpd/cpdtry.html>

I 講座実施内容

◇以下の 6 コースから御選択できます。Aa コースは A コースの一部 (6 講義) を受講するコースです。開催日は全て土曜日です

- A. 情報通信ネットワーク技術 (5 回で 10 講義分 6 月 16 日～)
- Aa. NGN とインターネット及び IP ネットワーク技術 (A コース後半 3 回で 6 講義分 6 月 30 日～)
- Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発 (2 回で 5 講義分 6 月 16 日, 23 日)
- Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント (2 回で 5 講義分 6 月 30 日, 7 月 7 日)
- D. 情報通信プロトコル技術 (2 回で 5 講義分 7 月 7 日, 14 日)
- F. 情報通信セキュリティ技術 (5 回で 5 講義分 6 月 16 日～)

専門分野別推薦コース表 (H24 春季)

コース名	主要受講対象 (コース選択の参考)				
	教育/企画/コンサル	営業/SE	ハード設計	ソフト開発	サービス/保守
A. 情報通信ネットワーク技術	◎	◎	◎	◎	◎
Aa. インターネット, モバイル, NGN における情報通信技術	◎	◎	◎	◎	◎
Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発	○	○	○	◎	◎
Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント	○	○	○	◎	◎
D. 情報通信プロトコル技術	○	○	◎	◎	◎
F. 情報通信セキュリティ技術	◎	◎	○	◎	◎

注) ◎印: 特にお勧め, ○印: お勧め

- 所定のカリキュラムを受講された方には、学会から修了証書を授与します。
- 受講形態として「個人受講」と「団体受講」があります。団体受講の場合は、何人かのメンバーが分担して受講も可能です。なお、団体受講の場合には、修了証書は発行されません。
- 受講申込で取得した個人情報につきましては、本会教育関連の DM 発送、受講者の動向及び傾向の調査に利用致します。
- 各コース共、受講者が定員に満たない場合は、講座を中止することがあります。
- 講師都合、災害等のやむを得ない理由で、日時を変更または休講することがあります。休講する場合は、講座を受講したものと取り扱わせて頂き、後日の開講は致しませんので御了承下さい。

II 実施期日と申込み方法

カリキュラムの詳細は先端オープン講座ホームページ (<http://www.ieice.org/jpn/event/education.html>) から御覧の上、申込みできます。以下にカリキュラム概要を示します。また C コース専用ホームページ (<http://www.sentanopen.net/>)

期 日 平成 24 年 6 月 16 日・23 日・30 日, 7 月 7 日・14 日各土曜日, A コースは 6 月 16 日～5 回, Aa コースは 6 月 30 日～3 回, Cs コースは 6 月 16 日, 23 日, Cp コースは 6 月 30 日, 7 月 7 日, D コースは 7 月 7 日, 14 日, F コースは 6 月 16 日～5 回

時 間 午後 9 時～16 時 (17 時) (ただし, F コースは 13 時～16 時)

会 場 機械振興会館 (港区芝公園 3-5-8) 交通 地下鉄日比谷線神谷町駅下車 徒歩 10 分

定 員 各コース共 50 名 (早めにお申込み下さい。申込先着順により、満員になり次第締切ります)

締 切 日 定員に余裕がある場合は、6 月 4 日 (月) まで受付

申込方法 下記の受講申込書に必要事項を記入の上、お申込み下さい。(なお、WWW ホームページからも申込みできます)

申込先 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 一般社団法人電子情報通信学会 会員サービス部

先端オープン講座担当 TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659

受講券と受講料 申込先着順に受講券をお送りします。受講券がお手元に届き次第、下記の受講料をお払込み下さい。

個人受講	区 分	A コース		Aa, Cs, Cp, D, F コース		●講義テキスト代金, 消費税を含む ●学生員及び高等学校教員は, 受講料割引の特典があります。お問い合わせ下さい。
		初受講	2 回目以降	初受講	2 回目以降	
	会 員	50,000 円	40,000 円	30,000 円	25,000 円	
	維持員に所属する非会員	60,000 円	50,000 円	35,000 円	30,000 円	
	非 会 員	70,000 円	60,000 円	40,000 円	35,000 円	
	団 体 受 講	70,000 円	60,000 円	40,000 円	35,000 円	

(注) Aa, Cs, Cp, D コースを前半・後半 2 コースの組合せ受講の場合、A コースの受講料となりますので両方に印をお付け下さい。

- ・本会会員は会員優待制度 (受講料割引の特典) で受講できます。
- ・本講座受講が初めての場合は、「初受講」料金、これまでに本講座の受講経験のある場合は、「2 回目以降」料金になります。
- ・非会員の個人受講の方で、本会に入会を希望される方は、受講料を会員扱いとします。(詳細は連絡先にお問合せ下さい)
- ・映像情報メディア学会・応用物理学会・照明学会・情報処理学会・電気学会・土木学会等の個人会員の方の受講料は本会会員扱いとします。情報処理推進機構 (IPA) 利用登録団体及び、情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ), (社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) の企業会員に属する方の個人受講の受講料は、維持員に所属する非会員の扱いとします。

先端オープン講座 受講申込書

(講義のポイントを絞るための参考としますので、差し支えない範囲でできるだけ記入して下さい。)

1	ふりがな 受講者(代表者)氏名	2	年齢 歳
3	受講券の送り先(○印記入 自宅・勤務先) 〒 受講者(代表者)の勤務先名 TEL		
4	個人・団体受講, 希望 コース(○印で囲む)	個人受講 A: 通信ネット Aa: インターネット Cs: ソフト Cp: PM D: プロトコル F: セキュリティ	団体受講
4	講座受講回数	1. 初回 2. 2回目以上	
4	会員・非会員の別 (○印で囲む)	1. 正員 2. 学生員 (所属学会: (会員番号:))	3. 維持員に所属する非 会員 4. 非会員 5. 高校教員
5	本講座を何で知ったか (○で囲む, 複数可)	1. 本会誌 2. ポスター 3. 雑誌・新聞 4. 受講生からの紹介 5. 上司等からの紹介 6. WWW 7. その他 ()	
6	参加の動機 (○で囲む, 複数可)	1. 上司等からの奨め 2. 業務上の必要性 3. 専門的技術の蓄積・向上 4. 一般的技術の蓄積・向上 5. 教養の醸成 6. その他 ()	
7	これまでの主な業務名		
8	主な専門分野 (○で囲む, 複数可)	1. 教育/企画/コンサル 2. 営業 3. SE 4. ハード設計 5. ソフト開発 6. サービス/保守 7. その他 ()	

(注) Aa, Cs, Cp, D コースを前半・後半2コースの組合せ受講の場合, A コースの受講料となりますので両方に印をお付け下さい。

..... 切 取 線

Ⅲ 平成24年度春季講座のカリキュラム概要

カリキュラム詳細は, WWW ホームページで御覧になれます. (<http://www.ieice.org/jpn/event/education.html>)

C コース専用ホームページ (<http://www.sentanopen.net/>)

各コース

(敬称略)

- A. 情報通信ネットワーク技術 6月16日から開講
 - Aa. インターネット, モバイル, NGN における情報通信技術
(A コース後半3回) 6月30日から開講
-
- (6月16日 9:00~12:00) 情報ネットワークの概論 (通信網構成, トラヒック設計, 交換方式, QoS, ほか)
上山 憲昭 (N T T)
- (6月16日 13:00~16:00) IP 通信技術 (IPv4, IPv6, IP パケット, インターネットセキュリティ, ほか)
萱島 信 (日 立)
- (6月23日 9:00~12:00) 無線通信技術 (電波伝搬の基本特性, 変復調技術, ソフトウェア無線技術)
関 智弘 (N T T)
- (6月23日 13:00~16:00) 光ファイバ通信技術 (光アクセス技術, 光伝送技術, DWDM 伝送システム)
森田 逸郎 (K D D I 研)
-
- (6月30日 9:00~12:00) インターネットの通信技術(1) (LAN/WAN 技術, TCP/IP, TCP の性能, ほか)
山口 実靖 (工 学 院 大)
- (6月30日 13:00~16:00) インターネットの通信技術(2) (IP ルーティング, ルータ, トラヒック解析, ほか)
宮川 晋 (NTT コミュニケーションズ)
- (7月7日 9:00~12:00) モバイル通信技術(1) (無線アクセス技術, 無線 LAN, Bluetooth)
榎木 勘四郎 (K D D I 研)
- (7月7日 13:00~16:00) モバイル通信技術(2) (IMT-2000, モバイルインターネット, 次世代方式)
鈴木 俊博 (NTT ドコモ)
- (7月14日 9:00~12:00) 次世代ネットワーク (NGN) の通信技術 (SIP, IP 電話 IPTV, IMS, ほか)
中村 秀文 (N T T)
- (7月14日 13:00~16:00) 特別講義「情報通信ネットワークにおける新次世代技術の動向」(ネットワーク仮想化, OpenFlow, SDN, Data/Contents Centric Network, ネットワークのエネルギー最適化制御)
岡本 聡 (慶 大)

(敬称略)

●Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発

(6月16日, 23日9:00~16:00)

講師: 駒谷 昇一 (NTT データ)

- (6月16日 9:00~12:00) ソフトウェア開発方法の概要 (ソフトウェア開発とプログラム作成の違い, ほか)
- (6月16日 13:00~16:00) 開発提案の作成方法 (システム受注の流れ, システム提案書/開発計画書の構成, ほか)
- (6月23日 9:00~12:00) プログラム設計の進め方 (外部設計工程の進め方, 例示する「外部設計書」のレビューを体験, ほか)
- (6月23日 13:00~16:00) プログラム試験の進め方 (単体テスト/結合テスト/総合テストの進め方, ほか) 運用保守の進め方

(敬称略)

●Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント

(6月30日, 7月7日9:00~17:00)

- (6月30日 9:00~12:00) プロジェクトマネジメントの概要 (システム開発工程とプロジェクトプロセス, QCD視点によるプロジェクトマネジメント, ほか) 大森久美子 (N T T)
- (6月30日 13:00~14:50) 要件定義の概要と動向~発注者と開発者で意識ずれのないシステム設計を行うために~ (要件定義の目的, 機能要件と非機能要件, 発注者と受注者の合意形成とは, ほか) 柏木 雅之 (IPA/SEC)
- (6月30日 15:00~17:00) 開発の見積り手法 (見積りとは, 見積り対象, 見積り精度の向上, COCOMO等具体的な見積り手法, ほか) 菊地奈穂美 (沖 電 気)
- (7月7日 9:00~12:00) ソフトウェアの品質管理 (PMOの活動範囲, 開発プロジェクトにおける品質管理, 運用・保守における品質管理, ほか) 草場 圭三 (日 立)
- (7月7日 13:00~16:00) プロジェクトのリスクマネジメント (リスクとは, PMBOKの概要, システム開発における実際のリスク, ほか) 香村 求 (システム SWAT)

(敬称略)

●D. 情報通信プロトコル技術

(7月7日, 14日9:00~16:00)

- (7月7日 9:00~12:00) TCP/IPプロトコル (OSI参照モデル, IP, TCP) 加藤 聰彦 (電 通 大)
- (7月7日 13:00~16:00) LANのプロトコル (イーサネット, VLAN, 無線LAN) 奥野 通貴 (日 立)
- (7月14日 9:00~12:00) アプリケーション層プロトコル (DNS, HTTP, メール) 石井 秀治 (N I C T)
- (7月14日 13:00~16:00) モバイルネットワークのプロトコル (モバイルBB, IMS) 松本 徹也 (NTTドコモ)

(敬称略)

●F. 情報通信セキュリティ技術

6月16日から開講

1. セキュリティ概論 (セキュリティの必要性, セキュリティとプライバシー, ほか) 稲村 雄 (オメガセキュリティ)
2. 無線ネットワークのセキュリティ技術 (携帯電話 (3G, LTE), 無線LAN, Mobile Wimax, ほか) 清本 晋作 (KDDI研)
3. インターネットのセキュリティ技術 (Radius, VPN (IPSec), SPF/SenderID, DNSsec, ほか) 佐藤 亮太 (N T T)
4. サイバーセキュリティ (ネットワークアタックの概要 (CVEなど), ファイアウォール, ほか) 寺田 真敏 (日 立)
5. アプリケーションセキュリティ (暗号メール, Webセキュリティ, セキュアOS, 著作権管理技術, ほか) 小川 一人 (NHK技研)

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 ……●

—— 本会・ソサイエティ・
研究専門委員会等主催・共催 ——

●見学会「清水建設」

見学先 清水建設技術研究所（東京都江東区越中島 3-4-17, JR
京葉線：越中島駅下車，徒歩 10 分）

期 日 平成 24 年 6 月 19 日（火）または 21 日（木）

時 間 午後

目 的 耐震性に関する見学

申込方法 下記の幹事へ 4 月末までに，見学希望期日，氏名，所
属，連絡先を記載して，申し込んで下さい。同業他社
は，不可の由，名簿を提出して，先方の許可があった人
だけになります。（先着 20 名まで）なお，集合場所な
ど，許可を貰った方へ改めて御連絡致します。

申込先 安全性研究専門委員会幹事 鈴木喜久

FAX [042] 748-6405

Ysuzul@jcom.home.ne.jp

幹事 木村昌臣

FAX [03] 5859-8507

masaomi@sic.shibaura-it.ac.jp

主 催 基礎・境界ソサイエティ安全性研究専門委員会

—— 本 会 が 協 賛 等 の も の ——

（※は参加費割引あり）

第 12 回機素潤滑設計部門講演会（※）

期 日 平成 24 年 4 月 23 日（月），24 日（火）

会 場 愛媛県県民文化会館（ひめぎんホール）（松山市）

問合先 日本機械学会機素潤滑設計部門担当 高橋

TEL [03] 5360-3504, FAX [03] 5360-3507

a.takahashi@jsme.or.jp

第 51 回日本生体医工学会大会（※）

期 日 平成 24 年 5 月 10 日（木）～12 日（土）

会 場 福岡国際会議場（福岡市）

問合先 同大会運営事務局（コングレ九州支社内）担当 西村・

奈須 TEL [092] 716-7116, FAX [092] 716-7143

jsmbe51@congre.co.jp

第 353 回講習会「技術で攻める医工連携—アプリケーションで攻
める！」（※）

期 日 平成 24 年 5 月 25 日（金）

会 場 中央大学後楽園キャンパス（東京都文京区）

問合先 精密工学会

TEL [03] 5226-5191, FAX [03] 5226-5192

http://www.jspe.or.jp/event/koshukai/seminar.html

ソフトウェア・シンポジウム 2012（※）

期 日 平成 24 年 6 月 12 日（火）～14 日（木）

会 場 AOSSA（福井市）

問合先 ソフトウェア技術者協会（VCAD ソリューションズ内）

事務局 伊藤

TEL [03] 5942-8070 office@sea.jp

第 354 回講習会「技術で攻める医工連携—加工技術で攻める！」
（※）

期 日 平成 24 年 6 月 29 日（金）

会 場 中央大学後楽園キャンパス（東京都文京区）

問合先 精密工学会

TEL [03] 5226-5191, FAX [03] 5226-5192

http://www.jspe.or.jp/event/koshukai/seminar.html

ワイヤレス・テクノロジー・パーク 2012 WTP2012「未来へ誘
うワイヤレス技術—医療，災害，ワイヤレス電力伝送，ITS，
M2M etc—」

期 日 平成 24 年 7 月 5 日（木），6 日（金）

会 場 パシフィコ横浜（横浜市）

問合先 同運営事務局（日本イージェイケイ内）担当 菅野

TEL [03] 6459-0444, FAX [03] 6459-0445

wtp@ejk-japan.co.jp

3 次元画像コンファレンス 2012（※）

期 日 平成 24 年 7 月 12 日（木），13 日（金）

会 場 早稲田大学西早稲田キャンパス（東京都新宿区）

問合先 3 次元画像コンファレンス 2012 実行委員会

TEL [03] 3367-0571, FAX [03] 3368-1519

info@3d-conf.org

U18 リケメン・リケジョの IT 夢コンテスト 2012（IT 夢コン
2012）

期 日 平成 24 年 8 月 4 日（土）

会 場 神奈川工科大学メディアホール（厚木市）

問合先 神奈川工科大学情報工学科 田中 博

TEL [046] 291-3203, FAX [046] 242-8490

h_tanaka@ic.kanagawa-it.ac.jp

平成 24 年電気学会電子・情報・システム部門大会（※）

期 日 平成 24 年 9 月 5 日（水）～7 日（金）

会 場 弘前大学文京町キャンパス（弘前市）

問合先 電気学会事業サービス課同部門大会係

TEL [03] 3221-7313, FAX [03] 3221-3704

conf21c@iee.or.jp

Dynamics and Design Conference 2012「システムを考える，境
界を越えて。」（※）

期 日 平成 24 年 9 月 18 日（火）～21 日（金）

会 場 慶應義塾大学日吉キャンパス（横浜市）

問合先 日本機械学会事業運営部門総合企画グループ 大竹

TEL [03] 5360-3505, FAX [03] 5360-3509

otake@jsme.or.jp

第 25 回日本セラミックス協会秋季シンポジウム特定セッション
「誘電材料の新展開」（※）

期 日 平成 24 年 9 月 19 日（水）～21 日（金）

会 場 名古屋大学（名古屋市）

問合先 名古屋大学大学院工学研究科 山田智明

TEL [052] 789-4689, FAX [052] 789-5158

t-yamada@nucl.nagoya-u.ac.jp

第27回生体・生理工学シンポジウム(※)
期日 平成24年9月19日(水)~21日(金)
会場 北海道大学学術交流会館(札幌市)
問合先 計測自動制御学会部門協議会担当
TEL [03] 3814-4121
bumon@sice.or.jp

第33回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム
期日 平成24年11月13日(火)~15日(木)
会場 千葉大学西千葉キャンパスけやき会館(千葉市)
問合先 東京工業大学総合理工学研究科
黒澤研究室 小野寺輝子
TEL [045] 924-5598, FAX [045] 924-5593
terry@ip.titech.ac.jp

第33回バイオメカニズム学術講習会(※)
期日 平成24年12月15日(土), 16日(日)
会場 東北大学医学部良陵会館(仙台市)
問合先 東北大学大学院医学系研究科
事務局 近藤健男
sobim2012@reha.med.tohoku.ac.jp

●…………… 国 際 会 議 ……………●

ICEP-IAAC 2012: 実装技術国際コンファレンス
期日 2012年4月17日(火)~20日(金)
会場 東京ビッグサイト(東京都江東区)
問合先 エレクトロニクス実装学会
TEL [03] 5310-2010, FAX [03] 5310-2011
icep2012@jiep.or.jp

ITU-NHK 国際ワークショップ「全ての人のためのテレビにアイデアから実現へ」
期日 2012年5月28日(月)
会場 NHK 放送技術研究所講堂(東京都世田谷区砧1-10-11)
参加費 無料(ただし, 事前登録が必要です)
問合先 詳細情報は, NHK 技研ホームページを御覧下さい。
<http://www.nhk.or.jp/str/>

APCHI 2012: The 10th Asia Pacific Conference on Computer Human Interaction (※)
期日 2012年8月28日(土)~31日(火)
会場 くにびきメッセ(松江市)
問合先 人間中心設計推進機構事務局(コンセント内) 天野
TEL [090] 8170-2027 secretariat@hcdnet.org

電子情報通信レクチャーシリーズ新刊 会員特価販売のご案内

<第26回配本> **A-3 情報社会・セキュリティ・倫理**

電子情報通信学会 編/辻井重男 著/ (株)コロナ社 発行

B5判/172頁/定価3,150円/会員特価2,900円(税・送料込)

21世紀に入って急速に進んだ情報化による社会の変化について考えながら, 情報社会の基盤である情報セキュリティの全体像を技術・法制度・管理経営・倫理などの面から把握できるように記述した一般学生・社会人向けの総合的入門書。

<主要目次>

- 第I部 情報社会(情報化の進展と社会の変容/デジタル技術による社会的矛盾の拡大)
第II部 情報セキュリティ(情報セキュリティの概念と理念/情報セキュリティ技術/情報セキュリティに関する法制度/情報セキュリティに対する経営・管理/情報セキュリティと人間/情報セキュリティ総合科学の構築へ向けて)
第III部 情報社会と倫理(情報倫理とは何か/哲学史の流れ—プラトンの2世界モデルから現代思想へ—/社会規範と個人倫理/企業経営と倫理/技術者の悩みと倫理/おわりに—情報社会の教養と人材育成)

◆申込方法◆ ご氏名, 送付先の会社名, 学校名, ご住所, 電話番号を明記の上, FAXまたはe-mail(書式自由, 会員特価販売分と記入)にて, 直接コロナ社にお申込み下さい。

◆注文先◆ 〒112-0011 東京都文京区千石4-46-10 (株)コロナ社内「電子情報通信レクチャーシリーズ」係
TEL 03-3941-3131(代) FAX 03-3941-3137 e-mail gyomu@coronasha.co.jp

●…………… 受賞候補者募集等 ……………●

——第 28 回村田学術振興財団研究助成——

助成対象 自然科学のうちエレクトロニクスを中心とする研究分野に関する研究

研究助成

- (1) 有意義な研究、特に若手研究者で萌芽的な段階にある先駆的・独創的研究に関する研究者または研究グループ
- (2) 助成金額は、総額 1 億 3 千万円とし 1 件当たり 100 万円～300 万円で総計 74 件程度

研究会（学会を含む）助成

- (1) エレクトロニクスを中心とする研究分野に関する研究会・学会
- (2) 助成金額は、総額 1,400 万円とし 1 件当たり 30 万円～100 万円で総計 22 件程度

研究者の海外派遣援助

- (1) エレクトロニクスを中心とする研究分野に関する海外での研究活動、あるいは海外で開催される国際会議、シンポジウム等で研究発表する場合の海外派遣。平成 24 年 6 月～平成 25 年 6 月の間に出発予定の方
- (2) 助成金額は、総額 1,200 万円とし 1 件当たり 20 万円～50 万円程度で渡航費及び滞在費の一部を援助

応募締切日 平成 24 年 4 月 16 日（月） 必着

問合せ先 村田学術振興財団

TEL〔075〕953-2580, FAX〔075〕955-6526
zaidan@murata.co.jp
<http://www.murata.co.jp/zaidan/index.html>

——第 9 回（平成 24 年度）日本学術振興会賞——

対象分野 人文・社会科学及び自然科学の全分野

対象者 国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他の研究業績により学術上特に優れた成果を上げたと認められる者のうち、平成 24 年 4 月 1 日現在以下の条件を満たす者。

- 1. 45 歳未満であること
- 2. 博士の学位を取得していること（博士の学位を取得した者と同等以上の学術研究能力を有する者を含む。）
- 3. 外国人の場合は推薦時点において我が国で 5 年以上研究者として大学等研究機関に所属しており、今後も継続して我が国で研究活動を予定していること

授賞 授賞数は 25 件程度。受賞者には、副賞として研究奨励金 110 万円を贈呈。

受付期間 平成 24 年 4 月 18 日（水）～20 日（金）（必着）

問合せ先 日本学術振興会総務部研究者養成課「日本学術振興会賞」担当 TEL〔03〕3263-0912, FAX〔03〕3222-1986
<http://www.jsps.go.jp/jsps-prize/>

——高柳記念賞——

対象

- (1) 高柳記念賞

次の条件を満たし、人格的にも優れた我が国を代表する指導的立場の人。

- ・電子工学、情報通信工学及び放送工学などの分野で、独創的かつ特に優れた成果のあった人
- ・同分野で、技術や産業の発展、研究者の人材育成などに多大な貢献をした人

- (2) 高柳記念奨励賞

電子工学、情報通信工学及び放送工学などの分野で将来性ある研究成果をあげ、技術の発展や産業に貢献した人で、次世代を担うに相応しい人。年齢は概ね 50 歳以下とする。

表彰

- (1) 高柳記念賞 1 件（表彰盾・副賞 100 万円）
- (2) 高柳記念奨励賞 2 件（表彰盾・副賞 各 50 万円）

提出期日 平成 24 年 5 月 31 日（木）必着

問合せ先 高柳記念電子科学技術振興財団事務局

TEL〔03〕3239-1207, FAX〔03〕3262-3028
tkinenz@oak.ocn.ne.jp
<http://www.koueki.jp/disclosure/ta/takayanagi/>

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後 3 か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ（トップページ）→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●中京大学

公募人員 情報理工学部 准教授 1名

平成 25 年 4 月「工学部（仮称）」開設予定（構想中）

専門分野 電気機器工学・電気エネルギー工学に関連した電気・電子工学分野

応募締切 平成 24 年 4 月 26 日（木）必着

問合先 情報理工学部 上林真司

TEL [0565] 46-1211, uebayasi@sist.chukyo-u.ac.jp

詳細 <http://www.chukyo-u.ac.jp/recruit-faculty/index.html>

●大妻女子大学

公募人員 社会情報学部情報デザイン専攻 教授、准教授のいずれか 1名

専門分野 情報処理

応募資格 博士の学位を有するか、または同等以上の方

応募締切 平成 24 年 5 月 11 日（金）必着

問合先 〒206-8540 多摩市唐木田 2-7-1

大妻女子大学社会情報学部情報デザイン専攻主任

本郷 健

id1-saiyou25@ml.otsuma.ac.jp

詳細 <http://www.gakuin.otsuma.ac.jp/academy/recruit.html>

●富山大学

公募人員 助教 1名（任期 5 年：審査を経て再任可）

専門分野 電子物性工学

応募締切 平成 24 年 5 月 25 日（金）必着

問合先 大学院理工学研究部教授 中島一樹

（工学部電気電子システム工学科担当）

TEL [076] 445-6720, kazukin@eng.u-toyama.ac.jp

詳細情報 <http://www.u-toyama.ac.jp/jp/employ/index.html>

●富山大学

公募人員 准教授または講師 1名

専門分野 情報通信分野

担当科目 符号理論、情報セキュリティ、情報ネットワーク等

応募締切 平成 24 年 5 月 31 日（木）必着

問合先 工学部知能情報工学科 唐 政

TEL [076] 445-6752

ztang@eng.u-toyama.ac.jp

詳細 電子情報通信学会あるいは本学ホームページ参照

●群馬大学

公募人員 大学院電気電子工学専攻情報通信システム

助教 1名

専門分野 波動応用工学、医用工学、画像工学などの分野

応募資格 博士の学位を有し（または平成 25 年 3 月末までに取得見込み）、教育及び研究に対する熱意のある方

着任時期 平成 24 年 10 月 1 日以降のできるだけ早い時期

応募締切 平成 24 年 5 月 31 日（木）必着

問合先 大学院工学研究科電気電子工学専攻長 山越芳樹

TEL [0277] 30-1771, yamakosi@el.gunma-u.ac.jp

詳細 <http://www.el.gunma-u.ac.jp/Koubo/index.html>

●徳島大学

公募人員 工学部電気電子工学科 助教 1名（任期あり）

専門分野 光信号処理技術（光増幅、光多重分離、光非線形現象応用など）、及びその光通信システム（光伝送システム、光ネットワークなど）への応用を専門とする方

応募資格 博士の学位を有するか、取得見込みの方

着任時期 平成 25 年 4 月 1 日、または決定後なるべく早い時期

応募締切 平成 24 年 5 月 31 日（木）必着

問合先 電気電子工学科長 島本 隆

TEL [088] 656-7483, simamoto@ee.tokushima-u.ac.jp

詳細 <http://www.tokushima-u.ac.jp/about/adoption/>

●長岡技術科学大学

公募人員 教授 1名（常勤 任期なし）

所 属 電気系情報・通信システム工学講座

専門分野 デジタル信号処理、画像情報処理、とその応用

応募資格 博士の学位を有するか着任までに取得可能な方で上記分野の教育・研究に情熱を有する方

提出書類 <http://www.nagaokaut.ac.jp/j/> 教員公募欄参照

着任時期 平成 24 年 9 月 1 日以降のできるだけ早い時期

応募締切 平成 24 年 5 月 31 日（木）必着「簡易書留」

問合先 電気系長 大石 潔, TEL [0258] 47-9525

ohishi@vos.nagaokaut.ac.jp

●室蘭工業大学

公募人員 しくみ情報系領域情報電子工学系学科電気電子工学コース 助教 1名（任期 5 年、1 回に限り審査により再任可）

専門分野 分子ナノエレクトロニクスまたはバイオエレクトロニクス分野に関する電子材料設計からデバイス開発までの実験を主体とする研究

応募締切 平成 24 年 5 月 31 日（木）当日必着

問合先 大学院工学研究科もの創造系領域

（情報電子工学系学科）教授 鏡 慎

TEL [0143] 46-5524, kagami@mmm.muroran-it.ac.jp

●高知工科大学

募集人員 情報学群 教授、准教授または講師計 2名

専門分野 ①ソフトウェア工学、情報メディア論

②分散処理、OS、データベース

応募資格 博士の学位を有し、博士後期課程を担当できる方

着任時期 平成 24 年 10 月 1 日以降の適当な時期

応募期限 平成 24 年 6 月 30 日（土）必着

問合先 情報学群長 坂本明雄, TEL [0887] 53-1020

sakamoto.akio@kochi-tech.ac.jp

詳細 http://www.kochi-tech.ac.jp/kut_J/university/saiyoujouho/info20120220.html

●松江工業高等専門学校

公募人員 電気工学科 助教または講師 1名
専門分野 電気・通信・情報工学一般
担当科目 電気基礎科目及び自身の専門分野に近い科目
応募資格 博士の学位を有する方（学位取得見込みの方を含む）
着任時期 平成 25 年 4 月 1 日
応募締切 平成 24 年 7 月 12 日（木）必着
問 合 先 電気工学科教授 築谷隆雄
TEL [0852] 36-5204, FAX [0852] 36-5204
tsukutani@matsue-ct.jp
詳 細 本学のホームページを参照

●…………… お 知 ら せ ……………●

——電子情報通信学会創立記念日と事務について——

本会は大正 6 年 5 月に創立され、来る 5 月 1 日で第 95 回目の創立記念日を迎えます。よって当日は事務を休業致しますので御承知置き下さい。また、この頃は休日が多くなりますため、事務の取扱いにおいて御迷惑をおかけする場合がありますが、御了承下さい。

——平成 24 年度会費お払込みのお願い——

平成 24 年度（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月）の会費（追加ソサイエティ代等含む）のお払込みを 11 月末にお願いしましたが、1 月中旬で入金の確認がとれない方につきましては、1 月末に再度振込用紙をお送りしておりますのでお支払いをお願い致します。

なお、本年 5 月末日までにお支払いの確認がとれない場合は 7 月号から会誌の送付及び論文誌の閲覧が停止してしまいますので、お早めのお支払いをお願い致します。

※法人会員（維持員・特殊員）の御請求は平成 24 年 4 月末にお送りする予定です。

——転勤・引越し及び学生員申請の届出について——

住所変更及び所属変更等の内容を本会 Web サイト上「会員サービス→マイページ」より御連絡下さい。※最初にマイページ専用のパスワード登録が必要となります。

書面（E-mail、FAX、郵送）でも承りますので、「会員番号、氏名、変更内容（住所）、連絡先電話番号」を明記の上、事務局会員サービス部会員課宛てに御連絡下さい。毎月 1 日までに御連絡を頂いたものは翌月号の発送から変更となります。

なお、転居先不明等で長期にわたり届出がありませんと、停止していた間の会誌等をお送りできない場合もありますので、お早

●豊田中央研究所

公募人員 ①正社員（研究職）1名
②、③客員研究員各 1名
専門分野 ①モータの設計及び設計技術の研究
②ナノ構造電子デバイスの設計及び応用に関する研究
③硫化物系薄膜太陽電池の研究開発
着任時期 応相談
応募締切 順次選考、採用が決定次第終了
問 合 先 人事室 採用担当、TEL [0561] 63-6509
saiyo@mosk.tytlabs.co.jp
詳 細 <http://www.tytlabs.co.jp/>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 6 月号掲載分 平成 24 年 4 月 18 日（水）必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページにも掲載しておりますので、併せて御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

現代電子情報通信選書《知識の森》シリーズ新刊のご案内

本選書は、最近、電子情報通信でまとまった知識が必要とされている分野について、周辺分野の専門技術者・研究者、学生も含めて体系的な知識が得られるようまとめたものです。

人は、どのように感じて知覚へと昇華させ認知するのか

『感覚・知覚・認知の基礎』

【監修】乾 敏郎（京都大学）○定価 3990 円（本体 3800 円＋税）／A5 判・282 頁

本書は、感覚・知覚から認知、さらに関連する記憶も含めて体系的に概説したものです。基礎から最新の知見まで歴史を追いながら解説したもので、専門家でなくても読み進められます。

◎このような方におすすめ

- 人の知覚や認知に興味を持ち、この分野の専門家を目指す学生
- ヒューマンインタフェースやコミュニケーション、通信など周辺の技術者・研究者

◆目次◆

明るさと色の感覚／聴覚と音声／触覚と体性感覚／味嗅覚／視覚系の空間周波数特性／運動視／立体視／知覚と記憶における特徴の統合／3D 物体の認知／形とイメージ／絵画の知覚・認知／空間のイメージ／身体イメージ／文字と単語の認知／記憶の分類／記憶の符号化と検索



電子情報通信学会 編 発行：オーム社 〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1 電話03(3233)0641 (代表) <http://www.ohmsha.co.jp/>

めに御連絡下さいますようお願い致します。

また、4月以降大学院等への進学で学生員の継続を希望される方は、Webサイト上「会員サービス→学生員申請」より御申請下さい。書面（E-mail, FAX, 郵送）でも承りますので、「学生員申請」と明記し、「会員番号、氏名、学校（院）名、博士・修士課程別、修了予定年月」を御連絡下さい。

E-mail: kaiin@ieice.org, FAX [03] 3433-6659

——英文論文誌Bレターカテゴリ廃止について——

通信ソサイエティ英文論文誌編集委員会

現在、英文論文誌BにはPaper, Letterの二つのカテゴリがありますが、2012年5月31日を最後にLetterの投稿受付を停止し、英文論文誌BはPaper（フルペーパー）のみの構成とすることになりましたので、お知らせ致します。ただし、英文論文誌Bに掲載された論文に対する紙上討論としてのLetterは引き続き投稿を受け付けます。

Letterカテゴリが対象としていた速報を目的とした短編の論文については、より速報性に優れたオンラインレター誌ComEX (<http://www.comex.ieice.org/>) (2012年3月1日投稿受付開始, 2012年6月1日創刊) に御投稿頂きますようお願い致します。

——卓越研究データベース（日本）の 名称変更と公開のお知らせ——

本会と関連学会、独立行政法人日本学術振興会で作成作業をしておりました「電気のデジタル博物館」は、このたび、機械分野やバイオ分野などを加えて拡張・リニューアルし、データベースの名称を「発見と発明のデジタル博物館」に変更して公開しましたので是非御覧下さい。

発見と発明のデジタル博物館のURL: <http://dbnst.nii.ac.jp>

——第20回衛星設計コンテスト——

本コンテストは、全国の大学院、大学、高等専門学校、専門学校の学生及び高等学校の生徒を対象としており、宇宙に関わる基礎・応用研究を積極化する機会を提供し、併せて我が国の宇宙開発の裾野の拡大に寄与しようとするものです。学生の自由な発想による小型衛星をはじめとする様々な宇宙ミッションのコンセプト、アイデア、設計構想等を全国から募集し、審査の上優秀な作品を寄せたグループ〔または個人〕を表彰します。

本コンテストは、衛星開発の専門家による教育の場でもあります。この観点から、学生の衛星設計への挑戦的な応募に対しては適切な指導を行い、再挑戦も期待します。

募集区分 「設計の部」、「アイデアの部」及び「ジュニアの部」
設計条件、提出資料、応募資格等応募方法の詳細については、衛星設計コンテストHP (<http://www.jsforum.or.jp/event/contest/index.html>) で御確認下さい。

最終審査（発表審査）平成24年11月10日（土）、会場調整中
参加登録料 3,000円

問合せ 日本宇宙フォーラム 衛星設計コンテスト事務局
TEL [03] 6206-4902, FAX [03] 5296-7010
satcon20@jsforum.or.jp

主催 電子情報通信学会, 日本機械学会, 日本航空宇宙学会,
地球電磁気・地球惑星圏学会, 日本天文学会, 宇宙航空
研究開発機構, 宇宙科学振興会, 日本宇宙フォーラム
後援 文部科学省, 総務省

日本学術振興会特別研究員 ——平成25年度採用分募集——

趣旨 日本学術振興会は、大学院博士課程在学者及び大学院博士課程修了者等で、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金を支給する。

また、世界の最高水準の研究能力を有する若手研究者を養成・確保する観点から、審査により、特に優れた大学院博士課程修了者を特別研究員-SPDとして採用し、研究奨励金を支給する。

対象分野 人文・社会科学及び自然科学の全分野

採用予定数 約1,600名

申請資格 申請資格は、採用区分による。

研究奨励金 平成24年度の支給予定額は以下のとおり。なお、研究奨励金の額については変更することがある。

月額200,000円～446,000円

研究費 特別研究員には、科学研究費補助金の応募資格が与えられ、科学研究費委員会の審査を経て毎年度150万円以内（特別研究員-SPDは、300万円以内）の研究費が交付される。

申請手続 特別研究員の申請は電子申請システムを通じて受け付ける。その際、電子申請手続と併せて必要書類が提出された場合のみ、有効な申請となる。詳細は、HP内「電子申請のご案内」(<http://www-shinsei.jsps.go.jp/>) から「研究者養成事業」を参照すること。

申請受付期間 平成24年6月4日（月）～6日（水）（必着）

問合せ先 日本学術振興会 研究者養成課 特別研究員募集担当
TEL [03] 3263-5070

募集要項、申請書、申請書作成要領等は、「特別研究員」のHP (<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>) の「申請手続」の「募集要項 (PD・DC2・DC1)」よりダウンロードすること。なお、申請書のうち10.(3)①(ア)の「申請書情報」は、必ず電子申請システムを利用して作成すること。

日本学術振興会特別研究員-RPD ——出産・育児による研究中断者への 復帰支援フェローシップ—— ——平成25年度採用分募集——

趣旨 日本学術振興会は、特別研究員制度の一環として、学術研究分野における男女共同参画を推進する観点も踏まえ、優れた若手研究者が出産・育児による研究中断後に円滑に研究現場に復帰する環境を整備するため、研究奨励金を一定期間支給し、研究活動再開を支援する特別研究員-RPDを平成18年度に創設した。

対象分野 人文・社会科学及び自然科学の全分野

採用予定数 約40名

申請資格 次の(1)～(3)全てを満たす者。

——ビッグデータ時代を支えるセキュリティ・
プライバシー保護技術小特集号

(和文論文誌 A) 論文募集——

ビッグデータ時代を支えるセキュリティ・
プライバシー保護技術と和文論文誌小特集編集委員会

電子情報通信学会和文論文誌 A の小特集号(平成 25 年 4 月号)として、「ビッグデータ時代を支えるセキュリティ・プライバシー保護技術」を企画しました。サービスの多様化やリアルタイム化などに伴い、多種で大量のデータを扱う場面が増えていきます。また、ネットワークストレージやクラウドコンピューティングといった外部リソースの活用が進められるなど、新たなサービスも創出されています。本小特集企画では、ビッグデータ時代におけるセキュリティ及びプライバシー保護に関する理論から実際的な応用までの研究成果を集積し、最近の進歩や共通の技術課題を抽出するとともに、今後の技術開発の方向性を展望したいと思います。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

ビッグデータ時代を支えるセキュリティ・プライバシー保護に関する理論から実際的な応用まで様々な研究を広く募集します。例えば、大量データを扱う際あるいは外部リソースを活用する際の認証、鍵管理、データ保護、保護データの活用技術、暗号プロトコル、匿名化技術といった基盤技術や、それら基盤技術を応用したシステムやサービス、及び技術的観点あるいは法制度から見たシステム管理運用技術などを対象としますが、その他の論文も広く募集します。

2. 編集方針

同分野は発展途上で多くの可能性を有しているため、研究の新規性並びに成果の信頼性に比べて、研究の有用性についての一般性や十分性を厳しく求めないものとします。

3. 論文の投稿規程及びフォーマット

通常の和文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは標準 2 ページ最大 4 ページとします。4 ページを超過しているレター原稿は受理しませんので御注意下さい。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」(http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html) を御覧下さい。また、<http://www.ieice.org/eng/ads.html> にあります二重投稿に関するポリシーを注意深くお読み下さい。なお、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

4. 論文の投稿

Web による投稿のみ受け付けます。下記の投稿手順に従って下さい。

手順 1: 電子情報通信学会 Web サイト https://review.ieice.org/regist_j.aspx を使って投稿して下さい。ソサイエティ/特集号では [特集号 JA] ビッグデータ時代を支えるセキュリティ・プライバシー保護技術小特集号を選択して下さい。[一般 JA] 基礎・境界は選択しないで下さい。

手順 2: 登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。送付方法は、郵送、FAX、スキャンし PDF 化したもののメール添付、のいずれの手段でも構いません。これらの書類がないと査読が開始されません。

- (1) 博士の学位を取得している者。または平成 25 年 4 月 1 日までに博士の学位を取得する見込みの者。ただし、我が国の人文科学または社会科学の分野の大学院博士課程に標準修業年限以上在学し、平成 25 年 3 月 31 日までに所定の単位を修得の上退学した者(見込みの者を含む。)で、博士の学位を取得した者に相当する能力を有すると認められる者も含む。
- (2) 平成 24 年 4 月 1 日からさかのぼって過去 5 年以内に、出産または子の養育のため、おおむね 3 か月以上やむを得ず研究活動を中断した者。
- (3) 日本国籍を持つ者、または我が国に永住を許可されている外国人。

研究奨励金: 平成 24 年度の支給予定額は以下のとおり。なお、研究奨励金の額については変更することがある。

月額 362,000 円 (ただし、博士の学位を取得していない者は、月額 200,000 円)

研究費: 科学研究費補助金の応募資格が与えられ、科学研究費委員会の審査を経て毎年度 150 万円以内の研究費が交付される。

申請受付期間: 平成 24 年 5 月 9 日 (水)~11 日 (金) (必着)

問合せ: 日本学術振興会 研究者養成課 特別研究員-RPD 募集担当 TEL [03] 3263-5070

募集要項、申請書、申請書作成要領等は、「特別研究員」の HP (<http://www.jps.go.jp/j-pd/index.html>) の「申請手続き」の「募集要項 (RPD)」よりダウンロードすること。なお、申請書のうち 10. (3)①(ア)の「申請書情報」は、必ず電子申請システムを利用して作成すること。

——平成 24 年 4 月号及び 5 月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

4 月号 [英文] Reliable Robust Radio Control Technology

5 月号 [和文] 暗号と情報セキュリティ実装技術

(通信ソサイエティ)

4 月号 [和文] 人・社会を支えるネットワークソフトウェア技術とその応用

4 月号 [英文] Cognitive Radio and Heterogeneous Wireless Networks in Conjunction with Main Topics of CrownCom2011

5 月号 [英文] Frontiers of Information Network Science

(エレクトロニクスソサイエティ)

4 月号 [英文] Solid-State Circuit Design—Architecture, Circuit, Device and Design Methodology

5 月号 [英文] Fundamentals and Applications of Advanced Semiconductor Devices

(情報・システムソサイエティ)

4 月号 [和文] ライフログ処理技術とその活用システム

4 月号 [英文] Knowledge-Based Software Engineering

5 月号 [和文] インターネット技術とその応用

5 月号 [英文] *Recent Advances in Multimedia Signal Processing Techniques and Applications—Special Section on APSIPA ASC 2010—

*Formal Approach

【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内

5. 論文投稿締切日 平成24年7月6日(金) 必着

投稿者チェックリスト・著作権譲渡書がこの期日までに学会事務局に届くようにして下さい。

6. 採否判定通知

著者には平成24年12月上旬までに採否判定結果を通知します。なお、論文採録の場合には、掲載別刷代をお支払い頂きます。

7. 問合せ先

中西 透 岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻情報通信システム学講座

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

TEL [086] 251-8249, FAX [086] 251-8255

E-mail: nakanisi@cne.okayama-u.ac.jp

※問合せはなるべく電子メールにてお願いします。

8. 小特集編集委員会

委員長 菊池浩明(東海大)

編集幹事 中西 透(岡山大)

編集委員 伊藤孝一(富士通研), 小松文字(IPA), 駒野雄一(東芝), 佐久間 淳(筑波大), 新保史生(慶大), 高木浩光(産総研), 千田浩司(NTT), 中川裕志(東大), 松尾真一郎(NICT), 渡辺知恵美(お茶の水女子大)

——多様化する電磁環境における EMC 対策設計・評価技術特集号(和文論文誌 B) 論文募集——

多様化する電磁環境における EMC 対策設計・評価技術特集編集委員会

携帯電話や無線 LAN などの無線通信技術の進展, インバータを内蔵した家電製品, 更には, 分散電源装置の普及などに伴って, 日常生活における電磁環境はますます多様化しています。

一方で, 電子デバイスは高速化・低電力化しており, 電子システムの電磁干渉耐力(イミュニティレベル)の確保が, 今後更に困難になると予想されます。こうした状況において, 電子システム間の品質や安全性の確保や情報通信技術の進展に伴う新たな課題への対応などの観点から, EMC(環境電磁工学)の位置付けは今後とも重要になっていくと考えられます。

以上のような現状を踏まえて, 電磁障害対策問題に資する最新の EMC 設計技術, 評価技術, 計測技術, シミュレーション技術に関する論文を募集し, 新たな研究成果を発掘するとともに, 今後重要性が増す EMC 技術の発展を目的として, 本特集号(平成25年4月号)を企画致しました。積極的な御投稿をお待ちしております。

1. 対象分野

EMC 回路基板設計, システムレベル EMC, EMC 対策部品, シールド技術, EMC 計測, 通信・電力システムの EMC, 生体 EMC, 人体通信, 電磁波セキュリティ技術など

2. 論文の執筆と取扱い

- ・通常の一般論文と同一とし, 論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。

詳細は和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html を御参照下さい。

- ・査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切: 平成24年7月19日(木) 厳守

最終判定予定: 平成24年12月中旬

発行月: 平成25年4月号

4. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし, 投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】登録時点で原稿のアップロードが困難な場合, 「郵送による投稿」を選択し, 一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール(Notification registration completion)が送信されますので, メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正/削除, 電子投稿(原稿のアップロード)画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので, 必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし, 投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト, 著作権譲渡書, 投稿原稿, 編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館

郵送時, 封筒に「EMC 特集」と朱記して下さい。

FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-b@ieice.org

5. 特集編集委員会

編集委員長 曾根秀昭(東北大)

編集幹事 馬杉正男(立命館大), 王 建青(名工大)

編集委員 石上 忍(NICT), 大西輝夫(NTTドコモ), 岡尚人(三菱電機), 川又 憲(八戸工大), 豊田啓孝(岡山大), 半杭英二(NEC)

6. 問合せ先

馬杉正男 立命館大学理工学部電気電子工学科

〒525-8577 草津市野路東1-1-1

TEL [077] 599-4192 E-mail: masugi@fc.ritsumeai.ac.jp

——集積回路設計技術に関する小特集号

(英文論文誌 C) 論文募集——

集積回路設計技術に関する小特集編集委員会

CMOS デバイスの微細化はとどまるところを知らず, 現在ナノメートル領域に向かって着実に進行し続けています。その結果, VLSI チップの集積度は指数関数的に増大し, 今や1チップに100億個といった脳の神経細胞数にも匹敵する膨大な数のトランジスタが集積可能になってきております。これにより新たなアプリケーションや情報処理の開拓が期待されます。一方で, 漏れ電流やばらつきの問題も顕在化しており, 新たな回路技術や設計技術への要求が高まっています。SoC への SRAM やアナログ回路の搭載は一般化し, 低電圧動作するメモリや CMOS アナログ回路技術も待望されています。このような背景のもと, VLSI の発展に寄与するためには, 新しいアプリケーションやアーキテクチャ, 更に先進の回路・設計技術が重要となります。そこで, 関連の研究成果を発掘することを目的として, 集積回路設計技術に

関する小特集号（平成 25 年 4 月号）を企画しました。奮っての御投稿をお願い致します。

1. 対象分野

主な分野は以下のとおりですが、これらに限定するものではありません。

- ・VLSI アーキテクチャ
- ・三次元チップ
- ・SoC
- ・メモリ回路
- ・デジタル回路
- ・インタフェース回路
- ・アナログ回路
- ・低消費電力技術
- ・設計技術
- ・実装技術

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がりペーパー：8 ページ，ブリーフペーパー：4 ページ以内（厳守）とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合がありますので，あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため，本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1：https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で [Special-EC] Solid-State Circuit Design-Architecture, Circuit, Device and Design Methodology を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順 2：著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙 (Confirma-

tion Sheet of Manuscript Registration) を下記まで郵送，FAX または電子メール添付で送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成 24 年 7 月 23 日（月）必着

5. 送付先及び問合せ先

石黒仁揮
慶應義塾大学理工学部電子工学科
〒223-8522 横浜市港北区日吉 3-14-1
TEL [045] 566-1815, FAX [045] 566-1529
E-mail: ishikuro@elec.keio.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 吉本雅彦（神戸大）
幹事 石黒仁揮（慶大）
委員 江川隆輔（東北大），藤田智弘（立命館大），濱崎利彦（広島工大），日置雅和（産総研），廣瀬達哉（富士通研），星野洋昭（東芝），岩崎裕江（NTT エレクトロニクス），石橋孝一郎（電通大），菅野雄介（日立），梶谷一彦（エルピーダメモリ），加藤武徳（ローム），川口 博（神戸大），川崎健一（富士通研），松岡俊匡（阪大），宮地幸祐（東大），Ramesh Pokharel（九大）

7. 小特集号の海外配布

本小特集号は，該当分野の海外キーパーソン 50 名に送付される予定です。

8. 付記

*論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので，あらかじめ御了承下さい。

*投稿に際しては，著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については，投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

現代電子情報通信選書《知識の森》シリーズ新刊のご案内

本選書は、最近、電子情報通信でまとまった知識が必要とされている分野について、周辺分野の専門技術者・研究者、学生も含めて体系的な知識が得られるようまとめたものです。

進化を続ける医療分野の情報化のすべてがわかる

『医療情報システム』

【監修】黒田知宏（京都大学） ○定価3150円(本体3000円+税) / A5判・222頁

本書は、医療分野で進められているさまざまな電子化・情報化について、システム全般の基礎から応用までをていねいに概説したものです。本分野の専門家でなくても読み進められるように図などを多く掲載しています。

◎このような方におすすめ

- ・医療情報システムに興味を持ち、その分野の専門家を目指す学生
- ・医療情報関連に携わる方

◆目次◆

病院情報システム / 医事会計と病院経営 / 医療業務とオーダエントリ / 記録情報の管理 / 端末群とネットワーク / 物流管理への貢献 / 医療安全への貢献 / 部門の情報管理 / 診療記録の活用 / 診療画像情報の活用 / 遠隔医療 / 医療情報の共有と活用 / 医療情報の未来

電子情報通信学会 編

発行：オーム社 〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1 電話03(3233)0641 (代表) <http://www.ohmsha.co.jp/>



通信ソサイエティオンラインジャーナル

IEICE Communications Express (ComEX)

創刊のお知らせ

IEICE Communications Express 編集委員会
編集委員長 菊間信良

■ 創刊の主旨

英文論文誌 B では、毎年、数多くのレターが投稿されております。レターを投稿された著者は、迅速な研究成果の公表と優先性の確保を主たる目的とされているものと思っております。

そのニーズに応え、更なる掲載までの期間の短縮を図るため、通信ソサイエティでは 2012 年 6 月より、ウェブを用いた英文オンラインジャーナル IEICE Communications Express (ComEX) を創刊することとなりました。ComEX では、採録が決定したレターは、校正後、随時掲載致します。したがって、迅速な成果公開が可能です。なお、ComEX 創刊に伴い、2012 年 5 月 31 日付で英文論文誌 B のレター（研究速報）の投稿受付は停止致します。

ComEX では、エレクトロニクスソサイエティのオンラインジャーナル IEICE Electronics Express (ELEX) と同様に文字数、図表点数に制約を加えたフォーマットを採用した点が、英文論文誌 B のレターからの大きな変更点となります。ただし、著者の皆様に、新規性、有効性の主張点を簡潔に記述して頂くことで、よりスピーディで正確な査読・編集作業が実現できるものと考えております。

しばらくの間、会員/非会員にかかわらず閲覧可能となります。また、2013 年 5 月 31 日までに投稿頂いたものに対しては掲載料を半額とします。皆様からの最新の研究成果の御投稿をお待ちしております。

対象分野 ▶

英文論文誌 B が網羅する全ての分野

スケジュール ▶

投稿受付開始：2012 年 3 月 1 日

ComEX 創刊：2012 年 6 月 1 日

問合せ先 ▶

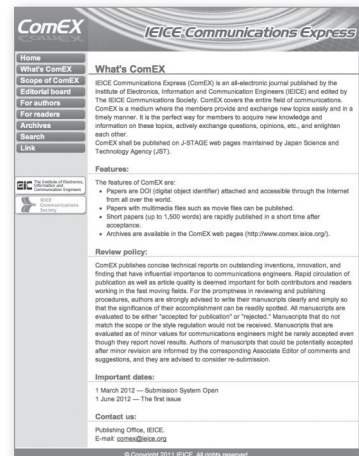
電子情報通信学会編集出版部 (comex@ieice.org)

■ IEICE Communications Express 編集委員会

編集委員長：菊間信良 (名工大)

編集副委員長：山田寛喜 (新潟大), 太田能 (神戸大)

編集委員：大槻知明 (慶大), 上山憲昭 (NTT), 関口高志 (三菱), 関屋大雄 (千葉大), 関谷勇司 (東大), 太郎丸真 (福岡大), 長谷川幹雄 (東京理科大), 原井洋明 (NICT), 萬代雅希 (上智大), 藤元美俊 (福井大), 松本隆太郎 (東工大), 米永一茂 (NTT), Jian Yang (清華大)



ComEX ウェブサイト
(<http://www.comex.ieice.org/>)



ComEX 原稿サンプル